# 



今年の春は足早に過ぎてゆき、まだ 4 月だというのにすでに初夏の陽気を感じさせる毎日が続いています。このままでゆくと、夏はどのくらい暑くなるのだろうと危倶してしまいますが、エルニーニョが発生しているため、冷夏になるかもしれないという予想もあるようです。ここ数年徐々に温暖化が加速し、異常気象が多くなっているように思うのですが、皆さんはどのようにお感じですか。

ところで、ちょっと遅くなってしまいましたが、昨年度 2 回目のフィールドレポーター調査「身近な鳥を調べよう」に関するレポーターだよりをお送りします。去る 3 月 17 日(日)に、これをテーマにした昨年度第 3 回目のフィールドレポーター交流会を開催しました。このときは、たまたまはしかけの方の交流会と合同で行うことになったのですが、その関係でお互いの活動に関して惰報交換をすることができ、参加者も多く大変有意義な交流会になったと思います。

## 2001 年度第 2 回調査

## 「身近な鳥を調べよう」結果報告

今回の「身近な鳥を調べよう」では、最終的に 313 件の報告がありました。ただ、当初調査の締め切りを 11 月末としていたのですが、なかなか報告が集まらず、急遽 12 月末まで締め切りを延ばしたところ、比較的多くの報告が集まりました。また、報告を送っていただいた方が 34 名と、最近の調査としては報告数の割に参加者が少なかったことが今回の特徴でした。

まず、今回の調査を行うに当たって、フィールドレポーターとしてはこれまで鳥を対象にした調査はあまりなかったので、まずは鳥を見慣れてもらうところから始めようと言うことで、できるだけ見慣れた鳥について、できるだけ簡単な調査からということでフィールドレポータースタッフの皆さんと企画をしました。しかし、スタッフの方々も含め何人かの方から、近づくのが難しくて観察がしづらい、あるいは種類の判別が難しいなどの意

見が出ていました。できるだけ簡単にとは 思っていたのですが、やはり鳥はこれまで 調査を行ってきた生き物とは、ちょっと違 うようです。そのため、先のような結果に なったのだろうと思います。また、実施し た時期が夏の鳥から冬の鳥へと変わって ゆく時期で、そのことも影響したのかもし れません。

とはいえ、鳥は多くの方が関心を持っておられるといますので、今後も折を見て調査を行ってゆきたいと考えています。



フイールドレポーター担当 桑原雅之

2001年度 第二回フィールドレポーター調査「身近な鳥を調べよう」について

フィールドレポーター 尾形

当初調査期間を 9 月から 11 月末としましたが、カイツブリ、カワウ、サギ、などの活動時期からみて、11 月末締めでは早過ぎるのではと再考して 12 月末としました。

お陰で皆さんからのレポート数も予想以上に多数お寄せ頂き総数 313 通になりました。 これらの資料を収録分析などいたしまして去る 3 月 17 日(日曜)に 2001 年度第三回の交流 会を開催いたしました。

- I、観察内容を鳥種のうちより詳しく調べられた、鳥の習性などについての津用さん、前田 さんの興味深いお話等
  - 、博物館の亀田さんには今回の調査にあたり、調査項目設定から各種鳥の参考記事、挿 絵、観察時の注意事項など、前もってご案内頂いており大変参考にさせて頂きました。 また、交流会の締めくくりの総評をお願いいたしまして、盛会うちに終了できました。 、私の調べましたレポートの集計からは、別表(円図)にもあります通り
- 1. 観察環境:

調査が多かった順にいきますと、川、溜め池、田んぽ、湖岸集落、水路畑、住宅地、 林、草原、湖沖、となっています。

2. 見つけた鳥の数と種:

総数 324 羽。サギ類が最も多く計 168、カイツブリとカワウ計 81、カラスは計 75。

3. 水辺環境(川、ため池、湖岸、湖沖、ダムなど)でみられた種:

サギ類(アオサギ 44、コサギ 33、ダイサギ 24、ゴイサギ 5)計 106 羽でサギ類全部の63%。

カイツブリ(47)、カワウ(28)計75羽で両種の93%。

\*これらに比べてカラメは両種で 21 羽で 27%しか見られないのは、一日のおおかたを 陸地(田や畑森など)ですごしているためと言えるでしょう。

4. 発見時にいた鳥の数

1 羽 : 113 件。アオサギが最も多く 40 件コサギが 21 件、ダイサギが 17 件とサ ギ類が多い。

2 羽 : 71 件。カイツブリが最 も多く23 件、ほかはいずれ も 10 件以下。

3~5羽: 52件。カイツブリの12 件が最も多く、あとは10 件以下。

6~10羽:31件。カワウ9件、あ とは3~5件。

10 羽以上: 40 件。カラス類やカワウなどは 100 羽を超える場合があり、大群が時に見られたとの報告もあります。



#### 5. 判別した特徴

体の(大きさ、形、色、)嘴(色、形、)などが、主として判断のもととなっています。 カラスだけはそれが難しいところです。集計で、大きさが 228 件、体色が 221 件、形が、183 件、嘴が 72 件です。

#### 6. 鳥の行動について

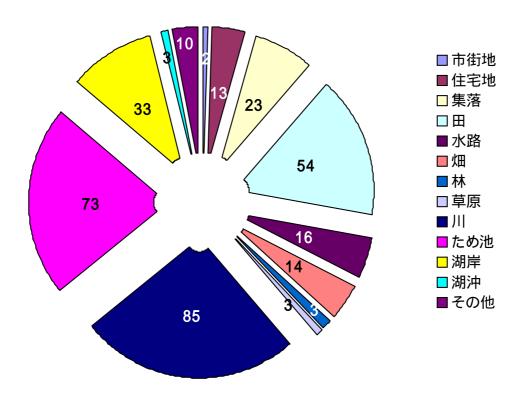
水辺での観察が多いので、やはり水面に浮かんでいるか、潜っているか、浅瀬の砂地などに立っているかなどありました。首を突っ込んでいる時、餌採り、水飲み、水、浴び、羽づくろいなどは判断の難しいところです。

集計で、餌とりが 108 件、立つ(水、陸地計)90 件、飛行 77 件、止まる 75 件、浮く 56 件、歩く 46 件となりました。

、調査時に気づいたこと、この種にまつわること、知っていること、感じたことの項目では、大変珍しい体験や、鳥と人間とのふれあいが感じられ、大変興味深いものでした。今回の調査により、大切な自然が広く存在し、日々の我々の暮らしにどれほど深い憩、いとやすらぎを与えてくれているかをあらためて認識させられると同時に、自然の美しさがこんなに素晴らしいものだと再認識させられました。

# 身近な鳥の調査 (1)(平成13年9月~12月)

# 環境で見つけた鳥の種類

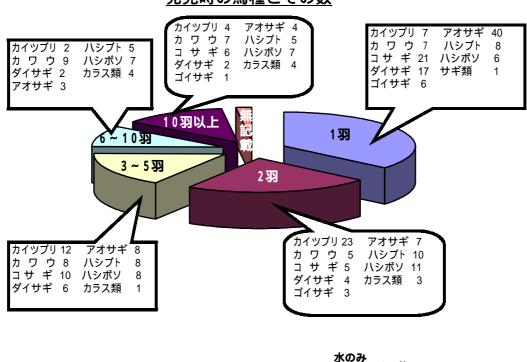


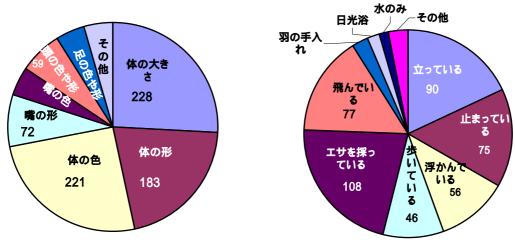
観 察 環 境

	市街地	住宅地	集落	田	水路	畑	林	草原	Л	ため池	湖岸	湖沖	その他(ダム等)
カイツブリ	1								16	20	9	1	1
カワウ		1	4					1	9	7	8	1	3
コサギ		2	1	10	3	2			18	11	2		2
ダイサギ				7	4	1			12	7	4	1	
ゴイサギ		2	1	2					1	2	2		
アオサギ		2	1	13	5	3			20	16	6		2
サギ類				1									
ハシブト		1	13	4	1	3	3		3	3			1
ハシボソ	1	5	3	11	2	5		2	6	5	2		1
カラス類				6	1					2			
合計	2	13	23	54	16	14	3	3	85	73	33	3	10

## 身近な鳥の調査(2)(平成13年9月~12月)

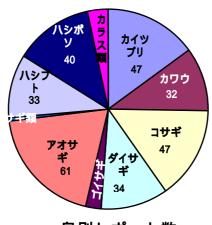
## 発見時の鳥種とその数





判断した特長

鳥の行動



<u>鳥別レポート数</u>

## 身近な鳥を調べてみようの調査結果から

津田国史

みなさんに調べていただいた、水辺の鳥についての調査結果から、私が感じた事柄をお知らせします。最初にこれは、2001.9.18~12-29までの問、滋賀県の313地点で見かけた鳥であること、調査地点が滋賀県全域でなく、空自となった地域もあることをお断りしておきます。

空白地域は、F.R の不在地域と照応し、鳥が多く見られた地域は熱心な F.R の在住と見事に照応するという結果がみられ、これは今後の各種の調査に大きな教訓を与えてくれました。(図 1 報告のあった地点)

水鳥は水辺にその名のとおり、水鳥は水辺で多く見られ、田んぼの水路で見られた (No.298)カイツブリもあり、水があれば山間の池などに住み着いているのではと思われ、一番多く見られた所がため池のカイツブリであることによく表れていると思いました。このカイツブリの 21 件という数は今回の調査のため池で見つけた鳥の最多でもあり、琵琶湖よりため池で見たというのが多かつたのが新鮮でした。

カワウを住宅地で見たというのもあり、ほう! と思いましたが(No.3,229) いずれも水の中ではなくて天空を泳いでいました。市街地と集落もそれぞれ 1 件ありましだが、やはり上を向いての観察でした。(No.271、109) ここで不思議なのは、カワウの大群がネグラからエサ場へ、またその逆もあるはずなのに、観察の対象になっていないことです。

これは、彼らの移動時間と、われわれ F.R の観察時間にタイムラグがあるのではなかろうかと思ったのですが、どうもそれではなさそうで、原因は、見られる地域が限定され、(No.23、225、303)彼らの通りみちに居合わせなければ、大群には出会えないのだ、それは湖岸か、河口かなと、思っています。

サギの中では、アオサギが群を抜いて多く、61 件と最多数です。識別しやすい鳥でもあり見まちがえることなく同定されたようです。少し気になるのは、湖西の地域の今津から志賀町の蓬莱あたりにかけて、サギの報告がダイサギ 1 件のみということです。もともとF.R の少ないこともあり、これは見るひとが居なかったとみればいいのでしょうか。

同じサギ仲間でもゴイサギは極端に少なく(8件)なぜ?と考えさせられました。とくに、 彦根からマキノまでの湖北地域からの報告が全く見られないことや、高島から大津もそう ですし、湖南に集中的に多い報告のわりには、湖南からもゴイサギの報告の少ないことが 気になりました。

サギは川やため池で見かけたというのが多いのですが、ゴイサギは川でも1件のみです、アオサギは田んぼで見たという鳥のトップです(12件)。ついでに川で見つけたと報告の多かったのは、コサギとアオサギのそれぞれ19件でした。

ゴイサギを湖北で見つけたという報告(No.266)で興味をおぼえたのは、それが雨の日であったことです。ゴイサギはもしや雨の日に現れるのではと、報告の中で雨の日を探してみました。

残念ながら他の7件は晴れ5件、曇り2件で雨はこの1件だけでした。

それで、雨の日に観察された貴重な報告を探しました、(No.94、95、108、270、266)の 5件でした。ほとんどが晴れか曇りの目で、鳥も晴れの目が好きなのか、それとも F.R が晴れの日にしか出かけないからなのか、これはわかりませんでした。

雨の日に観察して貴重なデターを頂いた方々にお礼をもうしあげます、とくにミゾレの日に観察して下さった No.270 さんご苦労さまでした。

天侯と鳥の活動とになにかの関係があるのかを今回の調査から探ってみましたら、おおざっぱな感じですが、水辺の鳥は晴れの目がお好きで、雨は嫌、カラスは曇りでもあまり気にしないで田んぼにお出かけという図式が浮かんできました。でもこれは、さきほどのF.R の心情、行動に同調しているからなのではと、教えられているように思えてなりませんでした。

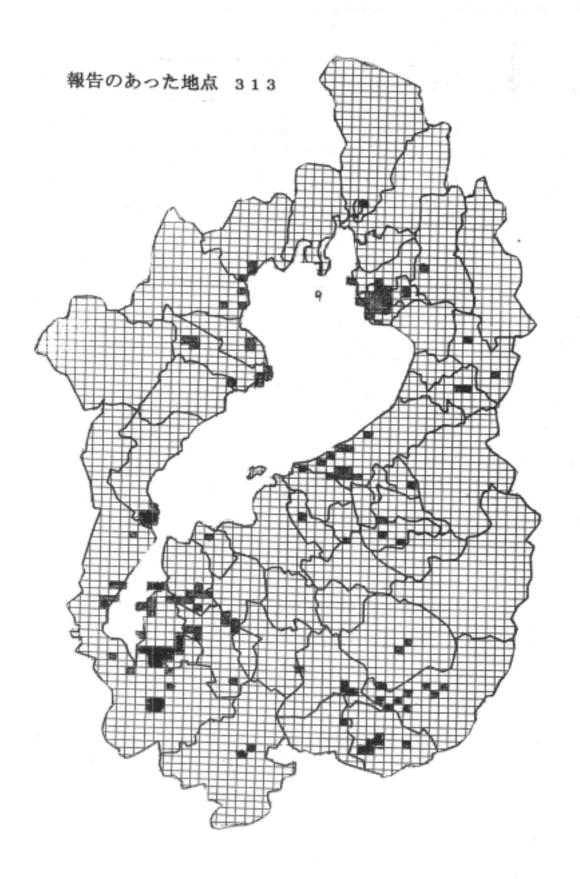
最初にも触れましたが、調査地域に偏りがあることで、今回の調査は次のステヅプへの 足慣らし、または巣立ちへの羽ばたき初めと考えています。

鳥を見かけたところが、F.R の在住地域と見事に関連しているということは、今回の調査対象である鳥は、人に見られることなく滋賀県の各地に生息している可能性を秘めていると思いました。

そのもっとも顕著な例が、湖南の草津から瀬田、大津の南東部にかけての地域です。この地域にため池の密度が高いことと、F.R の密度も県下で一番ということもあって調査対象のどの鳥も多く見かけられています。ただ少し不思議なのは、大津の酉部にもため池がかなりあるのに、ここからは報告がなかったことです。それと、湖岸で見っけたカイツブリの以外に少なかったことです。

滋賀県の県鳥であるカイツブリは滋賀県を象徴する琵琶湖で、もっとも多く見かけられるものとの思いがありましたので、これは新しい発見でした。そしてカイツブリについて 実はなにも知ってはいなかったのだ、との思いを知らされた今回の調査でした。

\* F.R:フイールドレポーター



## カラスを知ればおもしろい

前田雅子

カラスの報告はハシブトガラス 33 件、ハシボソガラス 40 件、「カラスであるがどちらか分からない」が 10 件でした。



ハシブトガラスは濁った声で「ガァーガァー」と鳴くこともあるので、鳴き声だけで判断することは難しいそうです。博物館の亀田さんから、「鳴き声や外見上の特徴だけでなく、この時期に、この場所で、こんなことをしているからと、総合的に判断することが大切」と、教えていただきました。

では、秋から初冬にかけてカラスはどこで何をしていたか、皆さんの報告で探ってみま しょう。

## 1. どんな場所(環境)にいたか

				見	5	<b>れ</b> 78	こり場	現	,					
	報告数	市街費	住宅地	集落	田	水賂	畑	林	草原	Л	池	湖岸	湖沖	その他
ハソフト	33 件	0	1	13	4	0	3	3	1	4	3	0	0	1
カラス			3%	39%	12%		9%	9%	3%	12%	9%			3%
ハソホソ	40 件	1	5	6	11	0	4	0	2	5	4	2	0	0
カラス		2%	13%	15%	28%		10%		5%	13%	10%	5%		
カラスの	10 件	0	2	0	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0
どれか														

見られた環境

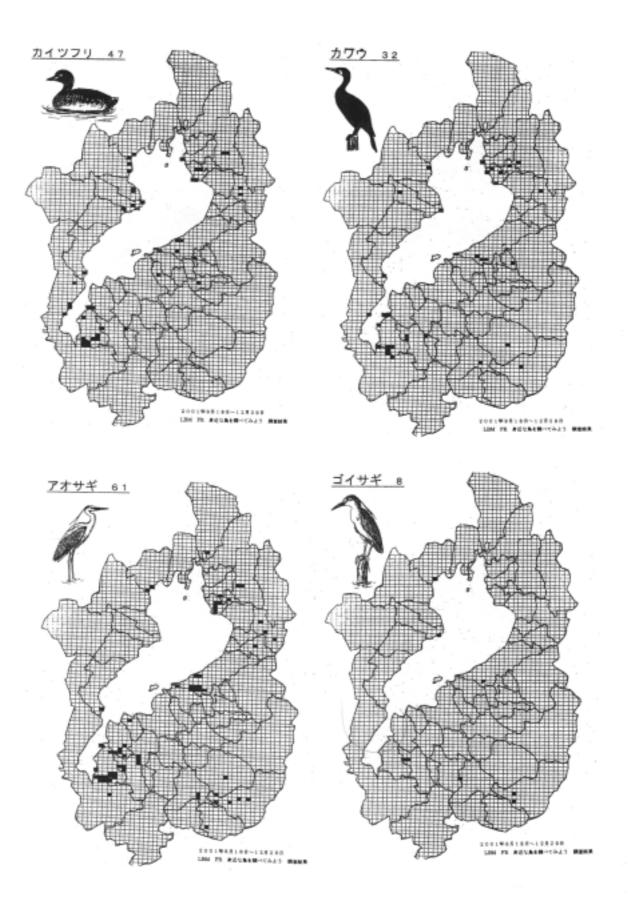
やはりカラスほ、どこでも見られる身近な鳥でした。今回の調査では市街地~集落~田畑~林~川~湖岸までの幅広い環境に見られています。環境適応能力に優れた鳥ということができるでしょう。けれどもハシブトガラスとハシボソガラスを比べると、生息環境に多少の違いがあるようです。

ハシブトガラスが一番多く見られたのは集落で(39%)、次に田畑(合わせて 21%)、そして川、林、池でした。この中で、ハシボソガラスの報告のない「林」に、ハシブトガラスが見られたのは注目されます。英名を jungle crow(ジャングルのカラス)というハシブトガラスは木が茂った環境を好み、集落や田畑に餌を探しに来ているようです。

一方、ハシボソガラスが一番多かったのは田畑(合わせて 38%)です。落ち穂をついばんだり、耕したところに降りてきて餌を採ったり、電柱や樹上に止まっていました。集落、住宅地、川、湖岸などあちこちで見られますが、ハシボソガラスはどちらかというと見通しの良い、開けた場所にいると言えそうです。

このように種(しゅ)によって好む環境があるものの、2種が一緒に見られることも少なくないようです。今回の調査では6地点で混在が見られ、「2種が仲良く止まっていた」と書かれた報告もありました。よく見たら両方いたということが案外あるかもしれません。

ところで、全 83 件のうち 20 件は川、池、湖岸のいわゆる水辺で見られています。水辺がカラスにとって大事な生活圏であることがわかります。次に、カラスの行動について見てみましょう。



#### 2.何をしていたか

#### 【水辺で】

川や池で、水を飲む(1件)・水浴び羽づくろい(3件)の報告がありました。特に水浴びと羽づくろいはセットで観察されていて、水浴び後に、羽に脂をつけていたと思われます。(詳しくは報告 No.162、171、82 をお読み下さい)また、水辺での採餌は 8 件ありました。(No.101・119)

#### 【エサをとる】

ご存じのようにカラスは雑食性です。植物食では「シュロの実を食べていた」(No.38)、「柿を食べていた」(No.H3、86)、「麦地で採餌」(No.150)のように果実、穀物、木の実などを食べますが、「畑の作物も大好き」(No.6 他)です。動物食は「耕した周辺を餌を採りながら歩く」(No.147 他)に代表されるように、土の中の小さな虫などを食べることが多いようです。けれども「ツバメの巣が襲われた」(No. 43)、「子ダヌキの死体をつついていた」(No.24)とあるように、積極的にハンティングしたり、死肉や腐肉を食べたりします。さらに「水鳥の餌を取りに来る」(No.101)、「お墓の供物を取る」(No.40、107)、「猫と餌を取り合う」(No.151)、「生ゴミをつつく」(No.291 他)など、カラスの強さと賢さを示す報告がたくさんありました。

ちょっと変わったところでは、「水のある田に入り、サギのように餌を採る」(No.207)というのがありました。ハシボソガラスは、浅い所なら水に入るようです。

#### 【木や電柱に止まる】

集落の木や屋根、電柱や電線、川岸の木、街ではビルのアンテナや看板にも止まっていました。そこが安全な場所であると同時に、見張ったり探したりするのに都合が良いのでしょう。止まっているように見えても、じつは餌を食べていたり、生ゴミを狙っているという報告もありました(No.7、50、292、107)

#### 【ねぐら入り】

夕方にカラスの大群が空を舞っているようすを、詳しく観察されています(No.201)。昼間それぞれの縄張りで過ごしたカラスたちが、集団ねぐら(数百羽、数千羽が一ヶ所に集まり、樹の枝に止まって眠ります)に帰ってきた時のデモンストレーションのようです。

#### 【トピックス】

ハシボソガラスが鳴く様子を観察されています(No.302)。「ガ」の時に頭が下で、「ア」の時に上がるそうです。ハシブトガラスはどうなのでしょう?

カラスが火のついた薪をくわえて飛び回ったそうです(No.223)。火を恐れないのでしょうか。

カラスが腕時計に固執したと書かれていました(No.202)。わけのわからないものを集めて隠す習性は他の動物でも見られますね。カラスは食べ物を隠す「貯食行動」があります。

#### 3.集団はどれくらい?

1ヶ所 に い た 数

	1 33	2 羽	3~5羽	6~9羽	10 羽以上
ハシブトガラス	9件	10 件	3件	5件	5件(15,30,40,50,100以上)
ハシボソガラス	6件	11 件	9件	6件	7件(13,20,30,52,124,100~440~)
カラスのどれか	0件	3 件	1件	2件	4件(20~25.40.60、数百)

観察によると 2 羽でいたのが一番多いものの、単独や小グループも同じようによく見られています。2 羽は夫婦あるいは親子かも知れません。グループは友達?行動をじっくり観察して、想像を働かせると面白そうです。(残念ながら、カラスの雌雄は外見で区別できません)

集団の最高値は数百羽で、彦根市の水閏地区の電線に「メジロ押しに並んでいた」 (No.228) そうです。野洲町三上では、稲刈り後の田で 100 羽以上が餌を採っていたのが観察されています(No.10)。どちらかというと朝夕に集団が大きいようですが、昼間でも数十羽まとまっているのが見られます。

# 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(カイツブリ編-1)

受付 No	*	
2	Α	声は聞こえたが姿は確認できなかった。例年たくさん泳いでいるのを見ているので、多分 何羽かはいると思われる。
11	Α	川の流れの中央部には出てこないで、岸近くのヨシ原の近くにいる
27	Α	10 月中旬から小型のカモ類が渡って来て、湖岸ではカイップリとの区別がつきにくくなっ
		てきました。
30	Α	時期によって数は変わります。昨春は 10 羽以上群れになっていましたが、この頃は二羽
		程ときには一羽でいます。
44	Α	近付くと潜ってしまい、いつまで経っても潜って出て来ないので周囲を見ると、20~30m
		向こうで泳いでいるのが見つかった。人を敬遺しているのか、エサ取りのためか、どれぐ
		らいの距離を一回で潜るのか機会があればじっくりと観察してみたい
53	Α	小アユなど小魚が少なくなるにつれ、かける;とが少なくなった
58	Α	5 羽のグループ
65	Α	この二羽はつがいかと思はれる。同じ様に動き回っている。潜る時も、泳ぐ時も、離れ過
		ぎずにまことに微笑ましく、かわいらしいものです。
67	Α	池の中央に弁天様を祀った祠のある小さな竈があり、そこに鳥がいるのをよく見かける。
		木の奥など見えにくいところに、もっとたくさんいたかもしれない。以前見た時には、カ│
		イツブリがもっとたくさん泳いでいたように思う。
91	Α	遠<から見たので太陽光線の具合か、水面との区別がつきにくく、もっとた<さんいたのを
		見落としているかもしれない。
92	Α	毎目は通らないが、通った時には必ずられる。
95	Α	杉本池は水草特にヒシがよく繁茂し水面が少ない。今の時期になると水草は枯れ水面が広
		くなり水鳥がやってくるカイツブリ、バンなどが繁殖している。
96	Α	西池はハスでいっぱいになりかけているので、ハスの繁茂を防ぐ対策必要。8Gの艇庫があ
		り、現在全く使用されていませんので撒去されたい。建設に反対してきた過去もあり、県
		への要望讐も出していましたが、思った通り全く使用されなくなった
105	Α	三島池の野鳥調査については三島池ピジターセンターに年間の記があります。
121	Α	数十メートルづつ離れて、潜ったり、水面を移動したりしていた。潜水は 15 秒から 30 秒
		位。10 センチ弱の魚をくわえて浮かび、魚がはねるのを止めた頃、飲み込んだ。漕って、
		浮上した位置まで長くて 20m。魚をくわえていた時は 5m 位。今目は水面に出て魚をたべる
400		ところを見たけれども、水中でも食べているのかな?
132	Α	池にはカイツブリ1羽だけがいました。潜ることもなく、水面を泳いでいるだけでした。
133	Α	この池には魚はたくさんいますが、お腹がいっぱいだったのでしょうか。   岸近くにいるたくさんのカモにまじって、カイツブリカ3羽、ひっきりなしに潜っていま
133	А	した。遠くの方を白サギ(ダイサギらしい)が飛んでいます。人が近づくと鳥達はスーツと
		した。遠くの力を白りて(ライリテらしい)が飛んといより。人が近しくと鳥厓はスープと一遠ざかっていきます。
138	Α	よくもぐる。2羽はつがいのようで、親子のようで、よくわからない。近所の人の酷では;
130	Λ.	の2羽だけがここにずっといるらしいから、おそらくつがいだろう。池は大きさ的には十
		分だが岸が急なコンクリばかりで、ヨシ帯の面積が少なく、また水中にすむ魚にもバスが
		いるらしいことから、あまり住みやすいとことは言えず、仲聞がふえないのかもしれない。
		ヒナも近くの林に住むキツネにやられている可甫性がある。
154	Α	他にもたくさんのカモたちが泳いでいた。養魚池の看板有り。道路をはさんで南にある中
		一池にはカイツブリは見られず、カモがられただけ、さらに南にある上池には、バンとカモ
		類のみ。
155	Α	他にも数多くのカモ類が見られた。京滋バイパス沿いのマンションの裏手に、こんなにた
		くさんの水鳴がいるのに駕いた
177	Α	コガモ、マガモ、ハシビロガモ、などもいた。南隣の上酢子池は埋め立てらていた、周囲
		は田畑で静かな環境。
198	Α	たいてい2羽で行動している。いつ見てもかわいい
200	Α	輪を描いて泳いでいた。新しい貯水池の少し奥に、古くから、ため池があり、そちらから
		移動したのかもしれない。昨年はいなかった。水も少なかった。
209	Α	1 ヶ月以上かかってカイツブリと判断しました。以前から水鳥は確認していましたが、
		すぐに潜って姿をかくしてしまう  全然飛び立たない(何かのひな鴉かと思った)  普通
		の褐色、赤っぽい、黄色っぽいフサフサ毛の存在、さらに県鳥なのに私がカイツブリを知
		らなかったこと大きい間題。
212	Α	水に潜って逃げていくのですが、足がつかえる程水深が浅く姿がまる見え。見慣れない鳥
		でしかも逃げないので、ひな鳥かと思っていました。
216	Α	カモ類が多く見わけ難い。小ハク鳥やオオヒシクイ、多<のカモ類の中できわめて、カイ
		ツブリが減っていることを感じる。カンリカイツブリ観でき激した。
224	Α	文禄川は底が浅い為、カイツブリの泳ぐ、水中の子が真上から見られます。
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

<sup>\* :</sup> A=調査で気づいたこと B:この種類にまつわること、知っていること、感じたこと

# 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(カイツブリ編-2)

		<u> </u>
受付 No		
239	А	カモ類が飛来している為に少ない。いつもは 15 羽程見られる。上流及び河口に移動しているものと思われます。
250	Α	ここのカイツリのヒナは育つまでの歩留まりが非常に悪い。平均親一羽にヒナ 1~2 羽になってしまう。浮き巣を壌すもの、ヒナを水中に引き込むものがいる。多分オオクチバスと思います。
259	Α	岸から約 50m 以内カウント
286	A	7 羽~10 羽、群れを組んで(たて一列 よこ一列等々)泳いでいた。午前中、特に朝方に
		よくみかけます。 (ヨシ群のあるところで)
29	В	カイツブリはずい分増えたと思います。この調査報告以外にいつもいるが見られました。 マキノ町知内本の川(さんまいのとなり) あど川町南舟木はずれの水門近く あど川町今在家松ノ木内湖へ流れこむ川 安1川町下小川の田回を南北に流れる川 安1川町近江白浜水泳場近くの用水路 新旭町太田の東側のびわ湖に流れこむ用水路 新旭町藁園の湖岸石垣堤の渚にカンムリカイツブリ1羽
30	В	琵琶湖が面饒猟になる以前ですが、年配の漁師がこの鳥を捕まえてきてさばいていました。腹に刃物を入れて一直線に引き両方に開いて羽毛のついた皮と筋肉、内臓の身を分けていました。丁度を服を脱がすようで「へえ」と言う感じで見ていました。あの頃に比べるとカイツブリはずい分増えたように思います。
44	В	ときどきしか行かないが、行く度に見られるので毎日見られると解釈いました。
121	В	水面を移動する時、すれすれに 15m くらい、飛びながら着水した。「鳩の俳句」 うき巣見て事足りぬれば漕ぎかへる高浜虚子 縁の下或る夜は浮巣寄りにけり下村挽 太 つつがなく浮巣に卵ならびおり阿波野青畝 堅田の僧親しき浮巣の話など金子篤 子 鳩の巣を揺るさざなみも近江かな安住敦 さみだれや鳩の浮巣を見にゆかむ芭蕉 ~ )「入門歳時記(角川小辞典=30)より
132	В	初め、カモの幼鳥がはぐれているのだろうかと思いました。後目、博物館の桑原さんに、カイツブリは「丸くて小さい」と教えていただき、展示?のカイツブリを見てビックリ。 冬は内側の毛をふくらませて丸々としているのですね。夏はあんなにスリムなのに。それから 12 月 7 目まで 5 回ほど行ってみましたが、あれ以来 1 度もカイツブリに出会えないのです。池がいりくんでいる上に、水際の木やヨシにじゃまされて見えないのかもしれません。
138	В	この池には他にゴイサギ、カワセミなどを時々みかけるが、この日はいなかったので書きません。
200	В	水底を水かきのある足で、泳ぎ回っているのを見たが、浮かんでいる時とは、はるかに 活動的だった。水面では休んでいるのかな?
224	В	この辺りの川や沼には必ず見られます。愛知川、宇曽川、曽根沼緑地公園、琵琶湖、荒 神山南側の下の水路ではほぼ必ず見られます。
295	В	今回の調査対象は、私の住居周辺のみで考えれば、カラスやサギに限られてしまうし、 広範囲で考えればいくらでも調査報告ができるものである。その点、調査する方の負担 も大きかったように思える。また人により、バラツキがかなり出るだろうし、もう少し 対象を絞り込んでもよかったではないか。今回私は友人とカイツブリ中心に探してみた ところ、あちこちで見られることがわかり、意義があったと思います。

<sup>\*:</sup> A=調査で気づいたこと B:この種類にまつわること、知っていること、感じたこと

.

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(カワウ編)

		を調べてみよう・調査で式フいたこと(カッツ編)
受付	No	
3	Α	│夕方、同方向に飛んで行くカワウの集団を時々見かけるが、どこから飛んで来るのか、なんとか調 │
		べてみたい。桜ケ丘から南東の方向へ探しに行ってみよう(短絡的でしょうか?)
23	Α	数えきれない位の数カ浅瀬や砂州にいました。
48	Α	灯台先端の竜球の所に止まり、明け方の湖面を凝視していて、5 分程して突如沖の方、エリの仕掛
'0	/ \	けに向って飛行した。
52	Α	5~6月よりグループが小さ<なり活発性力ない。(2001・5・09)に数千羽とも思われる群で、竹生島
32	A	
		南沖で餌をとっていた。又、竹生身では、枯木のてっぺんに巣を作り卵を温めている親鳥は、ヘリ
		コブターの爆音も、銃声も、人にも全<たじろがなかった。
59	Α	地図と説日文あり
109	Α	頭上近くを通過。池から田川にそって琵琶方面へ
116	Α	大きなヘラブナを捕まえた時、翼で、水面をたたいて、水しぶきを上げて呑み込んだ。潜水から、
		飛翔し、旋回していた、機械の及ばぬ性能に鷺いた。
129	Α	水面を泳いでいたが、ローでつないだプイの上にあがって、水気をはじき、羽をひろげて、しばら< │
		干していた。5 分ほどして、下流へ飛びさった。上を1回旋回した。
134	Α	住宅地(ペルパーク)に隣接する池で、南はスギ林があります。大きな鳥が池の上を 2~3 回旋回して
		から水面に降りてきました。カモ類がいるすぐそばでした。何をするのだろうと見ていると、泳ぎ
		ながら毛づくろいをし、1分後にすぐに飛び去っていきました。 " ちょっと休憩 "だったようです。
141	Α	餌が少なくなったため、夏場の 1/10 に減少している。
160	A	岸をコンクリートプロックでかためてあるのに、たくさんのヵモ類がいた。以前桜ケ丘北口上空を
100	A	痒をコングリードプロッグでかためであるめに、たくさんのガモ類がいた。以前枝グ丘ボロエ王を
400	Α	
169	A	以前夕方4:00頃に調べに来たことがあるが、その時とは様子がだいぶ違い、静かだった。
191	Α	かなり広い池で、岸や水の上にたくさんの水鳥がいた。カワウは池の中央付近で泳いだり、餌をとっ
		たりしていた。他のカモ類と混じって泳いでいた。
225	Α	たまたま大群が飛来した時に当たったと思います。11 月 2 目にはカワウが 930 には 42 羽いました
		が、11 時ごろには 1 羽も見られませんでした(2~3 羽は上空に)
229	Α	上空を通過
260	Α	岸から 50m 以内をカウント
299	Α	湖中の取水塔らしきもの止まっている。
303	Α	100羽以上の大集団が浜街道から湖岸にかけて旋回しており10分間程みとれていた。
19	В	琵琶湖岸はともかく、平野部ではあまり見かけないので、黒い姿はカラスかなと思うことがよくあ
13	D	ります。でも水鳥なので泳ぎや漕水は上手です。
23	В	りより。 くも小鳥なのと冰さや眉小はエチとり。   20 年位前に湖岸の石垣の上で冬の陽に羽を干しているのを見た時は珍しい鳥が来ていると恩いま
23	D	20 年位前に例序の石垣の上で冬の陽に羽を干しているのを見た時は珍しい鳥が未ていると思いま     したが、7~8 年前に数百の数のカワウを見た時は異様に感じました。これだけの数が琵琶湖の魚を
		捕食したら大変なことになると恩いました。漁師に言わせると、こんな「悪」はいないと…。「飛ぶ、
		潜る、泳ぐと三拍子揃って大食漢の上、一度腹に入れたのを吐き出す、エリのツボに迷い込んだら
		稚魚がダメになってしまう、捕まえようとすると鋭いクチバシで抵抗する」と。平成7年に今津浜
		で撮った写真を同封します。
49	В	カワウが減少傾向が見られるとのお話がありましたが、10月末(10月 25日)事実私が志賀和邇浜か
		ら北部安曇川、新旭、今津、マキノサマービーチ、大崎と回って見ましたが、大崎でたった2匹突
		堤の先にいるのを見ただけです。
84	В	川を上流に向かって飛んでいるのをよく見る。自分の好きな鳥です。
116	В	ダム湖は、満水時の 1/5 位の面積にのみ、水が残っていたが、よ<潜り、よ<食べ、よく飛んで(旋回) │
		│また、着水していた。旋回は安全の確認らしく、小生のすぐ近<を通過していった。ヘラブナと格闘 │
		して、のみこんでしまった。
129	В	着水したり水面から飛び立ったりもちろんもぐったり素晴らしい備えているのが分かる。
134	В	カワウカ1匹で行動するのはめらしいと思いました。琵琶湖岸から3km 内陸に入った所で、ため池
		が散在するのでカワウの活動圏ではあると思います。でもこんな住宅地に来るというのは、あまり
		一人を恐れないということなのでしょう。
225	В	採餌は大群では場所を転々と変え、少類(ママ)の群は場所を定めて毎目通って来るように思いま。
223	, D	採曲は入併では場所を転ぐと支え、少類(ママ)の併は場所を足めて毎日通りで来るように忘れる。     個体識別や脚環や着色で調べられないか?
229	D	
229	В	1 愛知川、字曽川で多数、目根沼緑地公では 2~5 羽が常時見られる。2 曽根沼緑地公園では長年上   マケ河のようだけだったものが、ニニュ 2、2 矢は美水、採銀オストラになった。2、共ず類に比べれ
		空を通過するだけだったものが、ここ 2~3 年は着水、採餌するようになった。3、サギ類に比べ力
		ワウは魚の捕獲成功の回数が格段に高<見え、一群の個体教も多い。飛来着水する場所が一定しない
		のは大量の魚を食べつくす為、移動する必要があるのではないか。1~2羽しか見掛けない場所では、
		いつでも見られるように思われる。
258	В	カワウと信じているが確証はない。もしウミウが混ざっていて多分わからない。空水面も埋めつく
		程の大群に出合うこともあるが、大群は同じ場所に定期的に現れることはな<、位置を変えて行動し │
		ている様に思われる。他の鳥と異なる習性か。
299	В	泳いでいる時はあまり感じないが、カワウは、体が大きく、全体に黒くまとまって止まっていると
		あまり気持ちのよいものではない。また、羽数のわりに、数多くいるように目立って見える。

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(コサギ編)

受付いる         はっきリコサギと新言出来ないが、見本絵を見て判断した。昼寝でもしているようにじっと浮かんでいた 1時間程して飛び廻った。           21 A が林に止まっている           31 A 適上の鮎を狙ってヤナ場に構一列に並んでいたが、適上する鮎もずい分数が減っています。コサギもこれから餌をとのが大変だと黒います。           34 A ヤナ場を中心に流れの中にダイサギ、コリカモメと混在していました。ざっと数えて55 羽、それ以上いたも知れませんが、ダイサドに比べてコサギが圧倒的に多かったです。           55 A 静かに立っている姿は、人の気持ちを見捨させてくれる。           57 A 地図と説明文あり(三ヶ所で発したコサギラへて同一?)           82 A 川堀の路、水液 10m らいゆるやかな流れの水路です。エサを探しているようでしたが、近づいた為、あわてて飛び去っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたが。           93 A この近辺で、コサギが運物の上(のアンナナ)に止まっているのは見たことがなかったので目についた。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思われる。           103 A コザギ・正夏なく冬少ない、夏は夕方なくらとして樹木を利用している。アマサギ・通り条をがなくなってから 10 羽くらいの群でやってくる。ダイサキ・…周年1 – 2 羽。アオサギ・…周年2 – 3 羽。テリトリーを織が強い           118 A 2 羽力がごって飛び立ち、重たもとの水辺へ降りた。           199 A のんびりあたりを見回し顔をとっているが、気をししったがは見られず、情しい。           199 A のんびりあたりを見回し顔をとっているようたた。           0 A カモ頻飛来の為・通常より辿り、いつもはて現様をしたしためまった。ここの場所は日替わりメニュー的であり、ある時ははほとんどオオバンはがり、火みる時はカワル、今はカモの時期でありかえニューのであり、ある時ははほとんどオオバンはがり、とならに指すると、この時間におり地の鳥は少ない。           273 A トラグターで水田の耕起中であった。麺り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はなり、トラグターで水田の耕起中であった。麺りに付きました。個別などはたいはないないにより、個別などはないないにはないないに対したのようなのようにある。サンメラ変好家の間では知りないの高さか外ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす手い卵や単立的の場合を取りたりたとしている。この場を取り、保険を取り、大阪の高のがメールでありためたりに関係を取りためたりに対している。このは様子です。多分のの3時はよりを開めていために対している。このはませたのはなかったけれど今思うを見つしたあるといきず傷がないになるとい様子です。多分のの3時を見かがらり代目ではは時代ではなかからがにますが、選目にはないないためためためためためためためためためためためためためためためためためため			と聞いてかなり、間直に対してに(コット間)
でいた1時間程して飛び廻った。 21 A が林に止まっている 31 A 週上の筋を狙ってヤナ場に横一列に並んでいたが、遡上する鮎もずい分数が減っています。コサギもこれから餌をとのが大変だと無います。 34 A フナ場を中心に流れの中にダイサギ、コリカモメと混在していました。ざっと数えて55 羽、それ以上いたかも知れませんが、ダイサギに比べてコサギが圧倒的に多かったです。 55 A 静かに立っている姿は、人の気持ちを受損させてくれる。 57 A 地図と説明文あり(ニヶ所で発したコサギすべて同一?) 58 A につ近辺で、コサギが強の上のアンテナ)に止まっているは見たことがなかったので目についた為、あわてて飛び左っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたが…。 59 A この近辺で、コサギが強の上のアンテナ)に止まっているのは見たことがなかったので目についた。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思わしている。アオサギ…周年2-3羽。デリトリー急離が強い、夏は夕ちねぐらとして樹木を利けしている。アオサギ…周年2-3羽。デリトリー急離が強い、夏は夕ちねぐらとして樹木を利け、一に103、アオサギ…周年2-3羽。デリトリー急離が強い、夏は夕ちねぐらとして樹木を利け、一に103、アオサギ…周年2-3羽。デリトリーシ離が発している。アイサキ…周年1-2羽。アオサギ…周年2-3羽。デリトリーシ離が強をしているようだった。 00 人のびりあたりを見回し顔をとっているが、畑中を耕すと、しっかり飛んでくる。 4 別年観楽の名、通常より少い、いつもは7 羽程は見られる、この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオバンばがり、又ある時はカナウ、今はカモの時間であり他の鳥は少ない。ファ るりまはとんどオオバンばがり、又ある時はたいとおもの時間をおりでいた。 原黒はよく見られる。 風景はよく見られる。 最景はよく見られる。 カナ 野飛来の為、通常より少い、いつもは7 羽程は見られる。この場所は日替わりメない。この場所は日替わりメない。とおり、名は日は日が大ラウラで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この場所は日替カリメについると思いまが、個の場は少ない。この場所は日替カリメについた。 ス 古屋とかに見とかに ました。私はかかったのでとても枯り 木には登れなかけれど今思うと昔の子供はずい分娩をとらっていると思いまず(値が数百 mの距離ですから)(先目10月 23目には10 羽余りでしたが、日によって変動としていたの場にいまった。 本りよりを見まが、このるを行りしかない。 本んとでmはあるうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシがいるのだらり、大きに優で現るために手はよりなに、またれとののでまったり、オリカでですが、遠目にはオタマジャクシがいるのだらい作で発していると思いますが、東日には方々マジャクシがいるのだらり、大きに優で見が強しているのそよりが大きに乗りためでするといに乗れて来りでする場がでって来て、カイツブリ等は一をのけないます。 第月中旬に観察してあとすく発んで来て生きむのを深している。 まとなしい優別は日本ではいないたいまが、まりにはいないたいまがは、水となしい優別は日本ではいないたが、カインののがは、オリカではいないたいたが、日本がはいれているのではいないたいたが、日本ではいるではいないたいために対したが、カインののはいないたいたが、日本ではいるではいるではいるいたが、日本ではいるではいるではいるいたが、日本ではいるではいるいたが、日本ではいるではいるいたが、日本ではいるではいるいたが、日本ではいるいまれていまれているいではいまれているいないまれているいまれているいまれているいまれているいまれているいといれているいまれているいまれているいまれているいまれているいまれているいるいないまれているいまれているいれているいといれているいはいるいないれているいといれているいないないないないまれているいれているいといれて		NO	
<ul> <li>1</li></ul>	13	Α	はっきりコサギと断言出来ないが、見本絵を見て判断した。昼寝でもしているようにじっと浮かん
<ul> <li>1</li></ul>			でいた1時間程して飛び廻った。
### およりの話を担ってヤナ場に横一列に並んでいたが、遡上する鮎もずい分数が減っています。コサギ もこれから間をとのが大変だと黒います。 ### ヤナ場を中心に流れの中にダイサギ、ユリカモメと混在していました。ざっと数えて 55 羽、それ以上いたか・地知れませんが、ダイサギに比べてコサギが圧倒的に多かったです。 ### かに立っている姿は、人の気持ちを安堵させてくれる。 ### 地図と説明文あり(三ヶ所で発したコサギヴスで同一?) ### 加製・水深 10m らいのゆるやかな流れの水路です。エサを探しているようでしたが、近づいた為、あわてて飛び立ちっていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたが。 ### 20 コサギ・連りかし、カーナー・カーナー・カーナー・カーナー・カーナー・カーナー・カーナー・カーナー	21	Α	
日もこれから餌をとのが大変だと黒います。			
34 A         ヤナ場を中心に流れの中にダイサギ、コリカモメと混在していました。ざっと数えて55 羽、それ以上りたかも知れませんが、ダイサギに吐べてコサギが圧倒的に多かったです。           51 A         静かに立っている姿は、人の気持ちを安堵させてくれる。           57 A         地図と説明文あり[こヶ所で張したコサギずべて同一?]           62 A         川幅2m3 水深10m らいのゆるやかな流れの水窓です。エサを探しているようでしたが、近づいた為、あわてて飛び去っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたが…。           93 A         この近辺で、コサギが運物の上(のアンテナ)に止まっているのは見たことがなかったので目についた。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思われる。           103 A         コサギ・夏多く冬少ない。夏はタ方ねぐらとして樹木を利用している。アマサギ・夏中・3羽。テリトリー意識が強い           118 A         2 羽つれたって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。           139 A         しっと水面を見つめているが、魚をとるしゅんかんは見られず、憎しい。           148 A         2 羽カれたって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。           159 A         たのルびりあたりを見回し値数をとるしゅんかんは見られず、憎しい。           170 A         会神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の崖で、日光浴をしているようだった。           180 A         とのより高を見回し鎖をとるしゅんかんは見られず、憎しい。           240 A         カた頻飛来の為、通常より少い。いつもは7 羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。           241 A         カを強いほどしているよりです。           251 A         トラクターで水田の耕建中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この場所は日かりました。           262 B         諸より享養れに、塩き渡る。           273 A         トラクターをいために、このはいために、またいためにはいために、またいためにはいためにはいためにはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためにはいためによったのはいためによったのはいためにはいためによったのはいためによったのはいためにはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためにはいためによったのはいためによったのはいためによったのにはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによったのはいためによった	• •	, ,	
上いたかも知れませんが、ダイサギに比べてコサギが圧倒的に多かったです。   1	3/	۸	
51 A         静かに立っている姿は、人の気持ちを安堵させてくれる。           57 A         地図と説明文あり(三ヶ所で発したユンサギゥへて同一?)           62 A         川幅 加弱、水深 10m らいのゆるやかな流れの水路です。エサを探しているようでしたが、近づいた為、あわてて飛び去っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたが…の。コサギが建物の上(のアンテナ)に止まっているのは見たことがなかったので目についた。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思われる。           103 A         コサギ・夏多く冬少ない、夏は夕方なぐらとして樹木を利用している。アマサギ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	J-T	^	
<ul> <li>57 A 地図と説明文あり(三ヶ所で発したコサギすべて同一?)</li> <li>62 A 川幅2m弱、水深 10m らいのゆるやかな流れの水路です。エサを探しているようでしたが、近づいた為、あわてて飛び去っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたがの。カレで飛び去っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたがの。 この近辺で、コサギが建物の上(のアンナ)に止まっているのは見たことがなかったので目についた。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思われる。</li> <li>103 A コサギ・夏多く冬少ない、夏は夕方ねぐらとして樹木を利用している。アマサギ・・夏-初秋 頭の朱色がなくなってから 10 羽くらいの群でやってくる。ダイサキ・・・周年1~2 羽。アオサギ・・・周年2~3 羽。テリトリー意識が強い</li> <li>118 A 2羽つれだって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。 しっと水面を見つめているが、魚をとるしゅんかんは見られず、惜しい。</li> <li>192 A 2种側の岸だけがコンクリートでなく、泥のよまで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の岸で、日光冷をとるしゅんかんは見られず、一つがり飛んでくる。カモ類飛来の為、通常より少り、いつもは7 羽程は見られる。 つ場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。 カ トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。</li> <li>305 A 耕運機の後について餌をとっていた</li> <li>16 B 昔より夕暮れに、鳴き渡る。</li> <li>31 B 私が小学生の低学年だった昭和20年代前半、上級生と離木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とず青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのとまれメー木には登れなかったけれど今場からをもらってボーズをとっていたと思います。ス、名古屋とか広島とかに高りの台へはは小さかったの距離ですから)(先目 10月 23目には10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)</li> <li>62 B カメラ愛好家の間では知内京の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に関いたところ、名古屋とか広島とかにます。エラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います。(金のまち)(先日はカイタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはイタマジャクシでのはといますがあらのでは2011年をもらってボーズをとっていまるようです)</li> <li>62 B 毎月の頃を辞述しなるとであるのでしょうか。 ますくの目にますを見かによっているのをもらうつがいない。水にもくるのをもらってボースをといていると思います。(本のはのはいならないは、ボースではいないないは、大りないは、大りないは、大りないないないないないないないないないないないないないないないないないないない</li></ul>	51	۸	
日本の			
83         本         た為、あわてて飛び去っていきました。魚も特にいる様子はありませんでしたが。           93         A         この近辺で、コサギが建物の上(のアンテナ)に止まっているのは見たことがなかったので目についた。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思われる。           103         A         コサギ…夏多く冬少ない。夏は夕方ねぐらとして樹木を利用している。アマサギ…夏~初秋 頭の朱色がなくなってから 10 羽くらいの群でやってくる。ダイサキ周年 1~2 羽。アオサギ…周年 2~3 羽。テリトリー意識が強い           118         A         2羽つれだって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。           139         A         しっと水面を見つめているが、魚をとるしゅんかんは見られず、惜しい。           192         A         名神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の壁で、日光浴をしているようだった。           199         A         のんびりあたりを見回し餌をとっているが、畑や田を耕すと、しっかり飛んでくる。           240         A         カモ類飛来の為。通常より少い。いつもは7羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はよりの今はカオにの時とはとんでいた。           273         A         トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。           305         A         料運機の後について餌をとっていた           16         B         着より夕暮れに、鳴き渡る。           17         A         トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この場所はりがりかりました。10回、以上の高さの格が大本のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。10回、以上の高さの格人木のゆらゆら揺れる高い巣から落とすずい卵や巣がはいます。ともはは飼付けに信れた白鷺がカメラマンから潜のではますが、ラッシと間の小魚をもってがよろっておられました。そもには飼付けに信たらない様子です。多分とのコードラグトの以上の高さの相が大なののの上ではないから、まずなりのようははいためますでするとっているといい場所ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、目によって変動していると高いますが、連貫には10月23目には10羽余りでしたが、目によって変動している場所ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、目のまたがにようであるのだろうかと思われる大きなオタマジャクシがてのからにようでする。カースを持てでするからにはいるようですり、カンチョウルではないからによっていまりますが、まずなが、カンチョウルではないなが、まずなが、カンチョウルではないなが、まずなが、まずなが、まずなが、まずなが、まずなが、まずなが、まずなが、まず			
33	02	А	
た。川や田んぼではよく見かけるのだが、移動の途中と思われる。   コサギ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			た気、のわくて飛び去うていざました。魚も特にいる様子はありませんでしたが。
103	93	Α	この近辺で、コザキが建物の上(のアンテナ)に圧まっているのは見にことかなかったので目につい
#性色がなくなってから 10 羽くらいの群でやってくる。ダイサキ周年 1~2 羽。アオサギ周年 2~3 羽。テリトリー意識が強い 139 A 2羽つれだって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。 139 A じっと水面を見つめているが、魚をとるしゅんかんは見られず、惜しい。 192 A 名神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の崖で、日光浴をしているようだった。 199 A のんびりあたりを見回し餌をとっているか、畑や田を耕すと、しっかり飛んでくる。 240 A カモ類飛来の為、通常より少い、いつもは7羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。 273 A トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。 305 A 耕運機の後について餌をとっていた 16 B 昔より夕暮れに、鳴き渡る。 31 B 私が小学生の低学年だった昭和20年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。 34 B カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を担ている人に関いたところ、名古医とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってポーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ連が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、日によって変動していいるようです) 62 B 近くの川(余呉導水路)に、なんと7cm はあろうかと思わる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思わますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。 65 B 9月中旬に観察していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3月見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。 106 B 田んぼを辞述したあとすぐ飛んで来で生きものを探している。 118 B おとないは優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アコをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアコを捕まえていた。みなで40~50羽いた。 119 B 1月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規権の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。			
2羽つれだって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。   139   A 2羽つれだって飛び立ち、またもとの水辺へ降りた。   192   A 名神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の崖で、日光浴をしているようだった。   240   A 力年類飛来の為、通常より少い。いつもは7羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオパンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。   150   A 財理機の後について餌をとっているが、類かとでき、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。   305   A 財理機の後について餌をとっていた。   240   A からではないである時はほとんどオオパンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。   150   A 財理機の後について餌をとっていた。   240   A からではないである時はほとんどオオパンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。   151   B 対が小学生の低学年だった昭和20年代前半、上級生と離木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。 10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと音の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。   34   B カメラ翼野家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に関いたところ、名古屋とか広鳥とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。 フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います。   25   25   25   25   25   25   25   2	103	Α	
118			朱色かなくなってから 10 羽くらいの群でやってくる。タイサギ周年 1~2 羽。アオサギ周年 2
<ul> <li>139 A じっと水面を見つめているが、魚をとるしゅんかんは見られず、惜しい。</li> <li>192 A 名神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の崖で、日光浴をしているようだった。</li> <li>199 A のんぴりあたりを見回し餌をとっているか、畑や田を耕すと、しっかり飛んでくる。</li> <li>240 A カモ類飛来の為、通常より少い。いつもは7 羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオパンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。以表る時はほとんどオオパンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。風景はよく見られる。</li> <li>305 A 耕運機の後について餌をとっていた</li> <li>16 B 昔より夕暮れに、鳴き渡る。</li> <li>31 B 私が小学生の低学年だった昭和20年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m以上の高さの松/木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松/木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。</li> <li>34 B カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、日によって変動しているようです)</li> <li>62 B 近くの川(余呉粤水路)に、なんと7でmはあろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。そんなことがあるのでしょうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシッす。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシッす。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。</li> <li>65 B 明中の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。別にをいた。大変に観音したあとすく飛んで来て生きものを探している。昨日、カスを持つかない。水にもぐるのを持ついない。水にもで40-50羽いた。小規模の渡りでしている。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みな見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。み見た時、アコをへに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。み見た時、アコをへに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアコを捕まえていた。み見た時、東京などがアコを持ちないないでは、水はでは、大変に高きまが、カストのでは、大変にあるいたけでは、大変にあるいたりでは、カストのでは、大変にあるいたけでは、カストので</li></ul>			
192         A         名神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよく当たっている北東側の崖で、日光浴をしているようたった。           199         A         のんびりあたりを見回し餌をとっているか、畑や田を耕すと、しっかり飛んでくる。           240         A         力モ類飛来の為、通常より少い。いつもは7羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオパンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。           273         A         トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。           305         A         耕連機の後について餌をとっていた           16         B         昔より多暮れた、鳴き渡る。           31         B         私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。           34         B         カメラ愛好家の間では知内浜の白驚は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、日によって変動しているようです)           62         B         近くの川舎実導水路に、なんと7でではあるうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。           65         B         9月中旬に観察していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを持ず連びを上りまたがに集まっていたった。それがよっていた。みなで40~50羽いた。           106         B         田んぼを財運しためとり、アコを持定した。           118         B         おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、イントのではながアコを持まえていた。           152         B         11月に入ってしばらくすると、パタッとのでいたりまたり、このはではながでいためではながでいたりまたり、このはではながでいたりませいまではながでいたりまた。		Α	
34		Α	じっと水面を見つめているが、魚をとるしゅんかんは見られず、惜しい。
<ul> <li>199 A のんぴりあたりを見回し餌をとっているか、畑や田を耕すと、しっかり飛んでくる。</li></ul>	192	Α	名神側の岸だけがコンクリートでなく、泥のままで、ここにサギ類が集まっていた。一部は日のよ
<ul> <li>240 A カモ類飛来の為、通常より少い。いつもは7羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であり、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。 トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。</li> <li>305 A 耕運機の後について餌をとっていた</li> <li>16 B 昔より夕暮れに、鳴き渡る。</li> <li>31 B 私が小学生の低学年だった昭和20年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。</li> <li>34 B カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小食をもらってポーズをとっています。フラッシュの閃光も気にみないは様子です。多分このコット達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、日によって変動しているようです)</li> <li>62 B 近くの川(余県導水路)に、なんと7cmはあるうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10月の末にオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。</li> <li>65 B 9月中旬に観察していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。</li> <li>166 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。</li> <li>176 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。昨年、姉川河口のヤナ漁をためのを待つしかない。</li> <li>187 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁なで40~50羽いた。</li> <li>188 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁をためついない。</li> <li>189 B 11月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へてったのではないかと思います。</li> <li>180 B 21月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へでしないかと思います。</li> <li>180 B 31月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標前では、カスでは、カスでは、カスでは、カスでは、カスでは、カスでは、カスでは、カス</li></ul>			く当たっている北東側の崖で、日光浴をしているようだった。
10、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。   トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。  305   A   財運機の後について餌をとっていた   16   B   昔より夕暮れに、鳴き渡る。   31   B   私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと   古の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。   34   B   カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には朗付けに慣れた白鷺がカメラマンから倒の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、日によって変動しているようです)   15   C   10月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   15   9月中旬に観寮していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもくるのを待つしかない。   17   10月の末にオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   11   10日の末にオタマジャクシです。   11   10日の末にオタマジャクシです。   11   10日の末にオタマジャクシで来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもくるのを待つしかない。   11   10日の様子で来て生きものを探している。   11   10日の様子で来に集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50羽いた。   11   10日の末にます。   11   10日の末にます。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若子高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規検の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が音であります。   11日に入りでは、アンスとは、アン	199	Α	のんびりあたりを見回し餌をとっているか、畑や田を耕すと、しっかり飛んでくる。
10、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。   トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついばんでいた。この風景はよく見られる。  305   A   財運機の後について餌をとっていた   16   B   昔より夕暮れに、鳴き渡る。   31   B   私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと   古の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。   34   B   カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には朗付けに慣れた白鷺がカメラマンから倒の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目10月23目には10羽余りでしたが、日によって変動しているようです)   15   C   10月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   15   9月中旬に観寮していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもくるのを待つしかない。   17   10月の末にオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   11   10日の末にオタマジャクシです。   11   10日の末にオタマジャクシです。   11   10日の末にオタマジャクシで来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもくるのを待つしかない。   11   10日の様子で来て生きものを探している。   11   10日の様子で来に集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50羽いた。   11   10日の末にます。   11   10日の末にます。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若子高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規検の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。   11   11日に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が音であります。   11日に入りでは、アンスとは、アン	240	Α	カモ類飛来の為、通常より少い。いつもは7羽程は見られる。この場所は日替わりメニュー的であ
風景はよく見られる。  305   A   耕連機の後について餌をとっていた   16   B   昔より夕暮れに、鳴き渡る。   私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。   34   B   カメラ愛好家の間では知内浜の白露は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ連が知内浜へ行っていると思います(僅か数百 m の距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)   近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   9 月中旬に観察していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2 ~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。   106   B   田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。   おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。   118   B   まとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。   119   日   11   11   11   12   12   13   13   14   13   14   15   15   15   15   15   15   15			り、ある時はほとんどオオバンばかり、又ある時はカワウ、今はカモの時期であり他の鳥は少ない。
風景はよく見られる。  305   A   耕連機の後について餌をとっていた   16   B   昔より夕暮れに、鳴き渡る。   私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。   34   B   カメラ愛好家の間では知内浜の白露は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ連が知内浜へ行っていると思います(僅か数百 m の距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)   近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   9 月中旬に観察していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2 ~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。   106   B   田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。   おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。   118   B   まとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。   119   日   11   11   11   12   12   13   13   14   13   14   15   15   15   15   15   15   15	273	Α	トラクターで水田の耕起中であった。掘り起こされた後をついて歩き、餌をついぱんでいた。この
305         A         耕運機の後について餌をとっていた           16         B         昔より夕暮れに、鳴き渡る。           31         B         私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。           34         B         カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってポーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)           62         B         近くの川(余冥導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしようか。           65         B         月中旬に観察していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。           106         B         田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。           118         B         おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。           139         B         11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。           152         B         縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。			
16	305	Α	耕運機の後について餌をとっていた
31       B       私が小学生の低学年だった昭和 20 年代前半、上級生と雑木の密生した湖岸の松林に白さぎの巣を取りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。         34       B       カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)         62       B       近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。         65       B       9 月中旬に観察していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。         106       B       田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。         118       B       おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。         139       B       11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。         152       B       縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。		В	
りに行きました。10m 以上の高さの松ノ木のゆらゆら揺れる高い巣から落とす青い卵や巣立ち前の 幼鳥をあみで受け取りました。私は小さかったのでとても松ノ木には登れなかったけれど今思うと 昔の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。  34 B カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってポーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)  62 B 近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。  65 B 9 月中旬に観察していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。  106 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。  118 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。  139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の 7 時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。		В	
### おいます   ### まいます   ### おいます   ### おいます	• •	_	
### 19 日本の子供はずい分残酷なことをしていたと思います。    1			
34       B       カメラ愛好家の間では知内浜の白鷺は全国的に有名で、私も浜で写真を撮っている人に聞いたところ、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の小魚をもらってボーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)         62       B       近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあるうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。         65       B       9 月中旬に観寮していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。         106       B       田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。         118       B       おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50 羽いた。         139       B       11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。         152       B       縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。			
3、名古屋とか広島とか言っておられました。冬場には餌付けに慣れた白鷺がカメラマンから餌の 小魚をもらってポーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)   52	34	В	
小魚をもらってポーズをとっています。フラッシュの閃光も気にならない様子です。多分このコサギ達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10 月 23 目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)   62	• •		
#達が知内浜へ行っていると思います(僅か数百mの距離ですから)(先目 10月 23目には 10 羽余りでしたが、日によって変動しているようです)    近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   9月中旬に観寮していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。   106			
<ul> <li>でしたが、日によって変動しているようです)</li> <li>62 B 近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。</li> <li>65 B 9 月中旬に観寮していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。</li> <li>106 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。</li> <li>118 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。</li> <li>139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。</li> <li>152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ&lt;見かけます。夜の 7 時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。</li> </ul>			
<ul> <li>62 B 近くの川(余呉導水路)に、なんと 7cm はあろうかと思われる大きなオタマジャクシが一面に群れていました。10 月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。</li> <li>65 B 9 月中旬に観寮していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。</li> <li>106 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。</li> <li>118 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。</li> <li>139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。</li> <li>152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ&lt;見かけます。夜の 7 時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。</li> </ul>			
いました。10月の末にオタマジャクシがいるのだろうかと思いますが、遠目にはオタマジャクシです。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。   9月中旬に観察していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。   106	62	В	
す。動きもそうです。そんなことがあるのでしょうか。65B9月中旬に観寮していた時に比べ、10月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では2~3羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。106B田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。118Bおとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで40~50羽いた。139B11月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。152B縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。		-	
65       B       9 月中旬に観寮していた時に比べ、10 月中ごろ過ぎからはサギ類が日を追って減少。この頃では 2 ~3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にもぐるのを待つしかない。         106       B       田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。         118       B       おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。         139       B       11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。         152       B       縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の 7 時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。			
- 3 羽見る程度、代りに冬鳥、カモ類がやって来て、カイツブリ等は一見区別がつかない。水にも ぐるのを待つしかない。  106 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。  118 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁 を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。み なで 40 ~ 50 羽いた。  139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以 上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。  152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見か けます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	65	В	
(ぐるのを待つしかない。  106 B 田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。  118 B おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。  139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。  152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	55		
106         B         田んぼを耕運したあとすぐ飛んで来て生きものを探している。           118         B         おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。           139         B         11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。           152         B         縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の 7 時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。			
118       B       おとなしい優雅な存在として、目に映った。浅い所で、ついばんでいた。昨年、姉川河口のヤナ漁を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。         139       B       11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。         152       B       縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	106	R	
を見た時、アユをたべに集まっていたコサギ、ダイサギ、アオサギなどがアユを捕まえていた。みなで 40~50 羽いた。  139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。  152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。			
なで 40~50 羽いた。  139 B 11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。  152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	110	0	
139   B   11 月に入ってしばらくすると、パタッとみかけなくなった。このあたりは標高が若干高く(200m 以上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。			
上)寒さがきつめなので、小規模の渡りをして川下の方へ行ったのではないかと思います。 152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見か けます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	120	D	
152 B 縄張り意識が強く、川の中で、ギャツーと鳴き声をあげて、一匹が他を追い払っているのをよ<見かけます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	139	D	
けます。夜の7時頃、その声をはじめて耳にした時は、大変に驚きました。	150	D	工)巻でかってのないで、小双俣の成りをして川下の万个行うだのではないかと思います。   煙に10 音楽が強く   川の内で、ギャットを喰き書きまげて   四が広を迫いせっているのもに 早か
	152	R	
290   15   毎年9月アユか川を遡上9る頃になると、数多くのサキか河口竹近に集まってくる	000	_	リまり。仪切!吁垻、て切戸をはしめて耳にしに吁は、人发に薦さました。 
	296	R	サ午∀月/ユか川を遡上9る頃になると、釵多くのサキか河口竹近に集まつ(くる

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(ダイサギ編)

		号を調へてみよう・調宜で気づいたこと(ダイザキ編)
受付 N		
17	Α	今の時期は、あまりいないが、春~夏の稲作付中はよく飛来する。
18	Α	両岸に連なっている。姉川はエサとなる魚が豊富なので、ここを住みかとしているサギは多い。
26	Α	カワウやコサギと共にいますが大きいのですぐ区別がつきます。
33	Α	遡上の鮎を狙っているのでしょうか、沢山のコサギ、ユリカモメと一緒に水中に立っていました。コ
		サギは 55 羽前後、ダイサギは 5 羽だけ、ユリカモメは数えませんでした。
45	Α	耕うん機で畑を掘り返し作業中の状況でダイサギ 1、カラス 2 が付近におりダイサギは歩いている感
		じ、ハシボソガラスはエサをとっていると見受けた。この用紙はダイサギを対象として記入していま
		す。
46	Α	このダイサギの群れの中に青サギも2羽交じっていて、暫く観察するも、争う様子はなかった。
56	Α	餌を取る時、足元で素早く取る。姿は、スマートで大変美しく心から感嘆し、楽園のような美しい所
		に住んでいることに改めて、感謝する。
61	Α	湖岸から 400m 沖を 3 羽のサギが水面すれすれに飛んでいました。からだを水面に対し 45 度に立て、
		ゆっくりと、しかも苦しそうに飛んでいます。魚を捕らえようとしているらしく、時折頭を水に突っ
		込み、からだを半分くらい沈みこませて 3~5 秒すると、大あわてではばたいて上昇しています。水
		草や藻などに立って、魚をねらっているのはよく見かけますが、カワウのようなハンティングするの
		を初めて見ました。10cm 弱の魚をくわえていました。
81	Α	この辺にはカモ類が常駐しているが、ダイサギをこの付近で発見したのは初めて。カイツブリを少し
		大き<してような鳥で数羽の群れを3ヶ所見つけたが名前が分からない(全体が黒い)
120	Α	満水時の5分の1位の広さに水が残っていて、ダイサギ3羽、コサキ05羽、アオサギ7羽がいた。
122	Α	流れていない入江に立っていた。小魚が数匹ダイサギの前方ではねていた。5分位すると 50m 位上流
		の浅瀬に移動した
144	Α	いつ見ても口ばしの黄色が美しい。
146	Α	耕迎機での冬耕中の田に舞い降りてきて、耕された田を盛んに突っついていました。耕運機が近づい
		ても又、途中、側に下りてきた一羽のカラスにも動じることなく、田をつっついて約1時聞半いまし
		た。
197	Α	静かな動作で非常に優雅である。くちばしの黄色が美しい。
219	Α	浅井水中に立っている。
241	Α	カモの飛来に押されて通常より少い。(遍常 2~3 羽)
256	Α	ダイサギかチュウダイサギか不明。多分チュウダイサ(亜種)
287	Α	30 分穫度の雨が上がった後にやってた。二羽いっしょに来たので同じ種類と思うが、くちばしと足
		の色が異なった。(くちばし:黄、足1黒)の個体と、(くちばし:灰、足:黄)の個体。餌はミミズの様
		なものやバッタの檬なものを食べていた。又、立っているときは片足で立っていた。
294	Α	しばらくじっとしていたが、通りかかった車の音で飛んでしまった。
17	В	シラサギは、春はオタマジャクシを食べに水田へ入り、苗を踏みつけ、秋は、カエルやイナゴを食べ
		に捕縄ヘドスンと着陸。稻を倒してしまうので農家の嫌れ者です。身近に見られるのは、これくらい
		ですので、コロニーのある姉川、琵琶湖岸へ行ってみます
18	В	姉川下流はたくさんのサギがいますが、椙本さんのエリアと思いますので、深追いはやめます
45	В	今回の調査では、鳥をカメラに収めることを目的としていたのですが、どの鳥も(カワウはまだ見て
		いないので分からない)50m 以内での撮影は困難でした。殆んどとび立って行きます。デジカメでは
		無理なので、望遠レンズ 300mm を使ったのですが結果はまだ分かりません。注意事項の鳥に近づきす
		ぎないの距離でじっくり観寮はシンドイ。
83	В	こんなきれいな鳥、いつまでも地球にいてほしい。田に水がある時はいつも 15 羽ほどいるところが
		あるが、水がないとそこにはいなかった。
120	В	くちばしが黄色で、時折、少し場所を飛んで、移動していた。浅瀬が多く、エサもある榛子だった。
		日野川ダムのヒドリガモはこの池との間を往復しているらしい。同じ位の数の群れが、ダムの方へ飛
	1	び去ったから。 この池の少し東に、もう一つ池があって、ブルーメの丘の敷地内なので、冬は人も
l		
		<u>少なく、マガモやヒドリガモなど 20 羽以上数えられた。しかしカイツブリは、いなかった。</u>
146	В	
146	В	時々首を伸ばして周囲を見る時の姿がとても美しく、うっとりする位です。周囲に振り回されること なく悠然たる様子にも感動しました。
146	B B	時々首を伸ばして周囲を見る時の姿がとても美しく、うっとりする位です。周囲に振り回されること

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(アオサギ編-1)

身近	び馬	を調べてみよう・調査で気づいたこと(アオサギ編-1)
受付	No.	·
1	A	池全体にハスが群生しており、水面がよく見えない状況。アオサギが 2 羽舞い降りたのを 目撃
5	Α	夏の暑さにも負けずに、微動だにもせずに川の中をのぞく姿は、辛抱の鏡です。だけど、 一日に何匹の獲物にありつけるのやら。それでもひたすら、じっと立っていますネ。
20	Α	竹林に止まっている
28	Α	一度にこんなに沢山青サギの飛んでいるのを初めて見ました。乱舞しているので正確に数
	, ,	えられませんでしたが40羽以上いました。
32	Α	昔、内湖だった所を田圃に埋め立て、今では僅かの水たまりから湖に流れこむ数㎜幅の川
"-	, ,	が湖に注ぐ川口に小魚を狙っていた。
41	Α	大山川の中の流れがよく見える川岸や、枯草の山の上によく見られます。川沿いに飛んで
	, ,	いたり、何羽かが点々と川の中にいるのも、川に沿って移動すると見られます。
47	Α	同じ場所にダイサギの群れ 23 羽が休んでいた。暫く観察するも縄張り争いはしなかった。
54	Α	長い足で歩く姿は悠然としていて美しい。
63	Α	刈り取りの終わった田んぼをアオサギが歩いていました.土は硬く、昆虫を探している様
		子でもなく、ただ歩いたり立っているだけです。頭もあまり動かしていません。アオサギ
		は水辺や湿地で見かけることが多いので、ちょっと驚きました。
64	Α	アオサギ2羽が平行して飛んでいました。エサを探している感じではなく、移動している ように見えました。ねぐらからエサ場に行く途中だったのでしょうか。
117	Α	200m 位向うから、一度もはばたきをせずに水際に降りた。精巧なクライダーを思わせる。
123	A	水の中から出ている長さ 1m 高さ 50cm 位の岩の上に立って水面を見ていた。10 分位、見て
1.20	, ,	いたが、少し向き変えただけでずっと立っていた。
128	Α	下流の方へゆっくり飛び去り、木の向うに消えた。
130	Α	はばたいては、滑空して、ゆうゆうと上流の方へ飛び去った。
131	Α	滝のように水が落ちている所へ舞い降りて来た。
136	Α	一羽は<ぴを曲げて川の上空を横断して行った。もう一羽は、川岸に立ってじっとしてい
		た。魚とかさがしているだろうか。
153	Α	半分位干上がった池の水の中に立っていた。他の鳥の気配は全くなし。
158	ΑА	かわいた田の土をついばんでいるようだった。何の餌を食べているのだろうか、アオサギ
		の中でも一段と大きく立派な個体、とても美しかった
159	Α	池の岸のコンクリートの台の上に、首をすくめた状態でじっと立っていた、最初ゴイサギ
		かと思ったが体の大きさから、アオサギとわかった。日は照っていたが、夕方なので、日
		光浴なのか眠っているのかよくわからない。
196	Α	常に単独行動で見かける。餌を足元で取る。
220	Α	長時聞水辺に立っている。鳥の行動の"水を飲んでいる"を確認出来るのは、小鳥ぐらい
		のものです。カラスでもあまり見たことがありません。水鳥では泳ぐ、採餌、水を飲むは
		見分けられません。
227	Α	いつも 20~50 羽集まっている。広さ 300 坪ほど 以前は 4~6 羽/目だったのが、近
		年多くなった。地形、水路の関係で、見えない分を推すると、この倍程はいると思います。
231	Α	上空通過
237	Α	ほんの 300 坪程のところで、これだけの数が見られる。水路、枯れ草等の確認し難い場所
		があり実数はこの倍程と考えられる。
242	Α	カモ類に追いやられて通常より少い。(通篇3羽程度)
246	Α	この時に限り、全ての種類の鳥が少なかった。カワウ、コサギ、ダイサギ、カイツブリ等
		はいつでも見られた。
272	Α	写真をとろうとしてカメラを向けたところ、他岸の岸に飛び移動した。
5	В	平成7年7月の上旬は雨続きでした。巣立ちの日が悪かったのでしょうか。長雨で体が弱
		ってとべずに水田に、うずくまっているアオサギの子供がいました。日没までは親が寄り
		添っていましたが、そのうち、あきらめたのか、立ち去りました。私としては田の中で死
		なれては困るので、捕まえに行ったところ、最後の力を振り絞って逃げるのです。その時
		発した悲しい鳴き声は、今でも耳に残っています。いやがって、つっつかれながら近くの
		木の下へ。2~3 日生きていましたが、体力が回復せずに、カラスのエジキとなってしまい
9	В	ました。 スマートな姿に比し、声がきたない。
14	В	女マートな安により、声がさたない。   毎年池の対岸の山にコロニーができる。多いときには、300 羽以上なる。
32	В	- この鳥の死体が湖岸にありましたが、遠くから見るとそばで見るのとでは大きさに大変な
		差があり、この鳥の大きさに改めてびっくりしました。
41	В	今は田んぼが乾いているので、田んぼの中では見かけませんが、水のある時はよく田んぼ
		で見かけます。

# \_身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(アオサギ編)

受付	No	· · ·
64	В	この時期になると、急にサギの姿が見られなくなるのですね。びわ湖にいつの間にかカモ
		が増えているのと対照的に、サギがいつの間にか見えなくなっています。そしてアオサギ
		がやけに目につ<ようになりました。
82	В	いつも一人でいることが多いように思う
117	В	カワウが 4 羽、岸近くへ降り立つと、少し向うにいた(15m 位)アオサギは、カワウのすぐ
		そばへ飛んで来た。カワウが魚を岸の方へ追いやるらしく、アオサギは、それをねらって
		やって来たと思われる(共生かな?)。飛んでいるにアオサギの鳴き声を聞いた。
131	В	あちらこちらと、小魚求めて、巡回しているように思った。
136	В	川に入っていたり田んぼにいたりをよく見かける。どこで巣を作っているのかなあ。あた
		まのうしろに毛が出ている。
220	В	1. 以前には大形の鳥は少なかったが近年多く見掛ける様になった。10 年程前はカメラに納
		めた<、一日探しても 1~2 番(ママ)見られる程度だったが、今はどこでも見られます。2
		毎日定まった場所で出合う(ママ)、色取りの不鮮明な白っぽい個体があります。こちらは
		旧友に合った様な気持ちですが、向こうは無関心なようです。 3 . メッシュコード 5236-6155
		彦根市金田町の用水路文禄川右岸の畑に常時 20~30 羽のアオサギを見掛けます。身をか
		くす小さな水路や繁みがありますので実数はこの倍程になるかと思います
227	В	水田、愛知川、宇曽川で必ず見られます。普通は塒以外では群を作らず、1 羽又は番の 2
		羽で見蛤けることが多いです。*空中から霧状に糞をまき散らすこと有り、要注意。
231	В	15 年程前だろうか、大型の鳥の減少が間題になっていた頃は 1 日歩いても 2~4 羽しか出
		会えなかった。その後数は回復に向ったが個体のサイズが小さなものが多くなった様に思
		われた。今は個体数、サイズ共正常に見える
257	В	この鳥の親の顔が見たい。行儀の悪いやつで、糞を空中から霧状にまかれることがある。
		(多分、危険を感じた時)

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(ゴイサギ編)

	<u> </u>	
22	Α	今回の調査でコソサギは初めて見ましたが、いつも白鷺やアオサギは見ていますがゴイサ
		ギは見かけませんネ。
124	Α	水のない草の生えた田んぼに 10m 位はなれて 2 羽、立っていた。
127	Α	橋から双眼一で、硯寮を始めると、下流へ飛び去った。
181	Α	ここを通るとたいてい、ゴイサギ、コサギ、アオサギ、などがたくさん木に止まっている
		のが見られる。今日はゴイサギの集団だけだったが。
208	Α	田のはたの桧のてっぺんにいる。
233	Α	親からはぐれたヒナか、フクロウの類に似た体色の幼鳥、カキの木の手のとど<種の高さ
		に止り、近づいても逃げない。赤茶色の目が目立ちます。
266	Α	この日は青サギとダイサギとゴイサギが1羽づつ。青サギとダイサギは川口の水中にゴイ
		サギは川口に積まれた石の上に水面をみつめていました。マダラ模様の青サギと、少し小
		型の灰色のゴイサギが背をまるめていました。今回の調査でゴイサギはほとんどみかけま
		せんでした
124	В	10m 位南側を車が沢山往来しているが、気にしていない様子。
127	В	この時、キレイな緑色のカワセミを一羽見た。下流 50m から、橋をくぐって、上流 50m 位
		の所に降りた。流れのすぐそばに。
233	В	1.夏の終りごろだったか、同様の色、大きさの幼鳥をこの辺りの水辺に多数(毎年)見てい
		る。
		2.夏の夕方~夜、街灯より少し高い所を多数がヒラヒラグルグルと廻り、時々グェーグェ
		ーと鳴いているのは多分ゴイサギだと思います。(ハシボソガラス(3)、アオサギ(1)も見
		ましたが、同じ場所で以前に載告しましたので省します。)

# 身近な鳥を調べでみよう・調査で気づいたこと(ハシブトガラス編-1)

		を調べてのよう・調 <u>且で気力いたこと(ハンフトカフス</u> 網-1)
	No.	
7	Α	いつも2羽で、栗の大木に止まって回りの様子をうかがっている。生ゴミを畑に捨てるのを待って
		いて、近づくだけで「カーカー」と催促。落花生が大好きで、収穫後、干しておいたら、「カーカ
		-」鳴きながら(ツバが止まらないよというような声)スキを狙って近づいてきます
10	Α	稲刈り取った後の田に集団で飛来し餌をとっている
24	Α	集藩から僅かにはなれた田圃の中の幹線道酪(町道?県道?)に子ダヌキ(車にはねられたらしい)の
		死体を 10 羽位でつついていた。
35	Α	ダムの両岸の山々を往復しているらしい。かなり高空を飛んでいた。尾根の近くで追っかけっこし
00	, ,	たり、活発に動いていた。
38	Α	場所は一定でないが普段は多さんいる。シュロの実を食べていた。畑の作物を荒らすので、鏡 (両
30	^	場所は 足にないが自殺は多さがいる。クコロの美を良べていた。畑の下物を売らすので、鏡(岡   面が特によい)を多さんつるして予防しているが、効果は大変によろしい。
40		
40	Α	電柱の上によく止まる。鳴き方から同じカラスと思う。いつも止まって鳴いている時、南の方から
		もう1羽が飛んでくるそのカラスに誘われるように北東の方へ飛んでいく。
50	Α	生コミを畑にすてに出るとすぐに電線から柿の木に移り、次第に畑へとおりて来た。人をおそれて
		いない。
80	Α	成谷から金勝寺方面へ走り、途中右折して桂谷池を目指した。この池に3年程前の春先に何か分か
		らないが鳥が浮かんでいた記憶で、カイツブリ?を想像して行ってみたが何も見られず、近隣の公
		園でカラスを発見したのが唯一の収穫だった。
88	Α	ごみの集積場にいた。
89	Α	小野神社の森に住んでいる様で、近くの柵川公園で遊んでは森に消えて行く。
101	A	水鳥に餌やるとそれを食べに来る。
113	A	大木もある森で、当日は8羽見られた。100mほど南西の小生の畑の柿の木にも、よくやって来て、
113	^	入木ものる株で、当日はも羽見られた。  00   ほど南西の小生の畑の柿の木にも、よくやりで木で、    実をつついている。この畑は来春、第2名神違絡道路工事が始まり、50年位の柿の木もついこの聞、
444		伐り倒した。
114	Α	牧場に電柱があり、ハシボソカラス3羽とハシブトカラス8羽が混って止まっていた。双眼鏡でよ
		く比較できたのですぐ分かった。
119	Α	対岸で水の減った斜面に歩いたり、ついばんだりしていた。やや遠くて判定にくかったが、鳴き声
		でハシブトと思った。
126	Α	頭が丸く出ていて、くちばしも太く、ハシブトと同定した。
135	Α	人家の軒あたりに下りて何かさがしていたが、私が通ると電線へにげた。
150	Α	集落以外にも多く見られます。例えば麦地に集団(50~100羽)が餌を取っている所とか、河川近く
		の林に夕方多く見られる。又、夏より秋にかけて農作物にあたえる被害には閉口している
162	Α	池で水浴びをして、羽づくろいをしているカラスを見たのは初めてだった。すぐそばに、ダイサギ
.02	, ,	とカルガモのつがいがいた。
171	Α	約 30 羽が川岸の木に止まったり、柿の実をついばんいだりしていた、約 20 羽が川で水浴びをした
171	^	り、餌を取ったりしていた。大群なので、そばを通るのが恐かった。
004		
201	Α	カラスはすばしこくてカメラを構えたときにはもう飛び立ってゐます。いろいろやって見ましたが
		失敗ばかり、今回は車の中から窓を透して、電線に止ったところを撮りました。
202	Α	朝、夜明け前と夕ぐれ時、大群となって、三上山周辺を飛んでいて、三上山近くの田や、工場の屋
		根などで休んでいます。景近私の住んでいる団地内で昼聞居るカラスの数が増えたように思いま
		す。
221	Α	ガアガア鳴くハシボソカラスの群れのそばを通り過ぎて少し歩き、後からカアーの声を聞くと、ど
		う扱ってよいのかに困ります。
245	Α	この時は河川敷内の鳥が非常に少なくトビ 1,アオサギ 1,ハシボソガラス 1 のみであった。寒く、
		方向の定まらない風が吹きあれていた為か。
265	Α	この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止っていました。夏頃はもっと多く数がガアガア、
_55		カアカアと早朝から鳴いていました。
270	Α	カラスの声がしたので外に出たら、電柱に 2 羽とまっていました。すぐに双眼鏡で見ようとしたの
210	^	
		ですが1羽は飛び去り、1羽を観察しました。その1羽も同じ方向に飛んでいってしまいました。    素は窓内で関いた1回の3
000		声は室内で聞いた1回のみ。
292	Α	電柱に止まっている。付近のゴミ置場のゴミを漁っていることが多く、時には人聞を襲うこともあ
		る。
300	Α	堤防上の道路を車で通り抜けるだけなら、カラスは飛び立たないが、車を止めると車外に出なくて
		も、対岸の方へ移動してしまう。川沿いには、畑も多く、野菜の収穫期には、カラスに荒らされる
		ことが多い。
24	В	上古賀の集落から安曇川を挟んで中野の集落の肉牛の牛舎の近くでは数百羽と思われる程の数の
		カラスが電線に止っているのを冬場よくかけます。
35	В	山には、小さな丸い柿が、鈴なりに色づいていた。集落にも近づいてゆくのではないかと思った。

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(ハシブトガラス編-2)

	身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(ハシブトガラス編-2)							
受付								
36	В	人間が死亡する前によく鳴くので嫌われている鳥。ゴミ類をまぜる。						
40	В	この辺では、一年を通じて秋はカラスの数が比較的少ないように思う。多いのは5月頃、						
		畑の青虫が多発し、えんどう豆が実る頃から、8月初め、お墓参りをする頃まで。お墓の						
		お供えをねらうのか 20 羽ぐらいが墓地の上にいる。 カラスは身近かな鳥ではあるけれ						
		ど、観察となるととてもむつかしい。近づくと逃げられてしまう。はなれると黒くて顔が						
		よく見えない。双眼鏡を取りに行っている聞に逃げられたり、高い所に止まっているのを						
		下から見ると顔がよく見えなかったり。						
101	В	水鳥の餌場に集まってくるので、その上の木の枝などにタコ糸を 5~6 条張ると、カラスは						
		来な<なる。また餌を夕方やると、水鳥は一般に夜行性でよく餌を食べ、カラスは夜やって						
		こないし、カラスがやってく朝までにカモは餌食べてしまう						
112	В	昔(S20年~30年代)漁師は猟師にカラスを猟銃で撃ってもらって、おいさで漁の竹の棒の						
		先につけていました。						
113	В	小生の畑にやってくるのは、3 羽位で、他のカラスは、別方向へ行くらしい。近くの滝樹						
		神社の森で、休憩して、また、やってくる。次郎柿の木を伐る時、カラスは揃って、大声						
		で鳴きたてていた。						
114	В	一本の電柱の各腕木に止まっていて、車中から、ゆっくり観察した。2 種が仲よく、止ま						
		っているのを初めて見ました。土山町頓宮(名神栗東ゴルフ場東)コード 5236-3241 の通称						
		「新池」(水深 15~20m)には、澄んだ水が、満々とたたえられていたが、水辺の鳥やカラ						
		スなどには、一切出合わなかった。池の囲が急斜面で浅瀬なし。						
119	В	露出した湖底の泥の上をエサを探していた。ずっと右手に、釣り人が一人いたので、そち						
		らには、鳥は一羽もいなかった。ヒドリガモが 20 余羽、こちら側の岸にいた。						
135	В	いい声ですね。						
150	В	身近な鳥図鑑のコピーでもあれば頂きたい。判別が簡単に出来ると思います。						
201	В	この調査地とは別ですが、住い近くの和迩公圓の川向いの森にカラスの巣があるようで、						
		毎日夕方 5 時頃になると申し合わせたように、方々から 5 羽~10 羽とやって来て、いっと						
		き公園の電線上や、民家の屋根に止まり、榛子を見てゐる。そのうち仲間が次第に増え 100						
		羽も越えるほどの大群になると、一勢に森に突撃します。ところが森の中には先着隊がか						
		なりの数居て、此の後続組と一緒になって、上空に舞上り飛び交い大騒ぎします。何をし						
		てゐるのか解りません。それもしばらくでやがて森の梢に全部戻り静かな日没が肪れます。						
		日本の歌児童唱歌の「カラスと一緒に、かえりましょう・・」や r カラスが鳴くから、						
		かーえろ一」の情景そのものです。望遠鏡で見て、ハシボソガラスの群れのようでした。						
202	В	10 年<らい前かと思います。子どもと散歩していると、きったない腕時計が落ちていまし						
		た。油まみれで、ベルトも切れていましたが、誰かが落としたのかと思い、ブロックベい						
		の上に置いたところ、一羽のカラスが、ギャーギャーと鳴きながら、私の頭近くを飛んで						
		きました。カラスは光る物を集めると聞いたことがあります。私が見つけた時計を探して						
		いたのでしょうか。						
221	В	かなり昔のことになりますが、有害鳥駆除(銃猟)に参加したことが一度だけありますが、						
		銃を持った人を見るとすぐに居なくなります。取れた個体は全て若い個体のように(羽色、						
		脚の細さ等)見受けられました。						
270	В	以前はカラスの声をよく聞いていたように思います。ごみ問題と関連して、姿もよく見か						
		けていたように思います。最近、声も姿も周辺から消えたように感じられるのは何故なの						
		でしょうか。何だかやっぱり寂しい思いがします。						
300	В	いつも見慣れているカラスも、よく見ると種類が混ざっているのに初めて気がついた。柱						
		などに 1~2 羽程度止まっているのは気にならないが、人が寄りつかない河原に集団でまと						
		まっていると無気味な感じがする。						
<u> </u>		•						

## 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(ハシボソガラス編-1)

### おいらないが繊維いるのだろうと思った。  ### おり海を飛ばしていた。1はして羽の下の毛をとくようになでていた。   日かぼへ降りて土の中の虫や草を採っては民家の屋根の上に上っている。   日かぼへ降りて土の中の虫や草を採っては民家の屋根の上に上っている。   一羽が、耕いてはかりの畑で、ついばんでいた。すぐそばの電柱のてっぺんに、もう一羽いて・い感じの声で鳴いていた。   電信柱のてっぺんに、報酬の基部にとまって時々鳴きながら、すっとあたりを見回していた。何かをしているのか。   イラッド・ガラスよりおとなしい(やきしい)感じがする   イタイサギが冬耕された田を突っついていた所へ下りてきて、付かず離れずの距離を保ちながら耕連の周辺を創とりながらチョンチョンと歩いていた。   イ実町を 1時間ほど走ったが、不思講なほど鳥を見かけない。場所や時間帯のせいかとも思うが、地域性なんだろうか。   この付近は田んぼの広い地域であり、サギ類の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なかった。ピラデスト今津は該当の鳥類は発見できず。   このの付近は田んぼの広い地域であり、サギ類の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なかった。ピラデスト今津は該当の鳥類は発見できず。   こののけびは田んぼの広い地域であり、サギ類の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なかった。ピラデスト今津は該当の鳥類は発見できず。   コの日は特に少なかった。多い日は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(トビもほとんど同様、港神山を期にする。)   イカリ別歌の地面、河川林に多数集まっている河床の露出面が多い時には多数集まる。   この日は特に少なかった。多い目は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(トビもほとんど同様、港神山の所でけをカウントしましたが、ことりみでよ見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所をけをカウントしましたが、ことり現けられた。J R 終情~国道8号線間の合計では25羽程はいたと思います。   東軸で通過の一個所だけをカウントしましたが、ことり外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下50m程の間で13羽が見られた。J R 終情~国道8号線間の合計では25羽程はいたと思います。   東軸の場にていました。   東数から鳴にていました。   青からカラスはたくさんいます。   東がの場ではではまった。   東数から鳴にていまでかまな田んぼ、水路、西側のRはのまで、真っ大の場では、地域を探索したが鳥類は、大いい外達が見かった。   スに、京がみりました。   東がからずりました。   まがかりで、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高になった。   東がかりがりました。   まがかりました。   まがかりがまに、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高には、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高に、 10m以れで高には、 10mのは、 10m以れで高には、 10			を調べてみよつ・調宜で気ついたこと(ハシボソカラス編-1)
日本 日			
した。 43 A 周囲をキョロ見ていたが、一羽がカァーカァーと鳴いて飛び立つと、あとの一羽も同じようにカァーカァーと鳴いて後を辿って飛び立った。 55 A 畑を廻りおこした後すぐに、6・10 羽が産とりにどこからかおりて来た。人の行動をよく見ている。 68 A 1 羽が柿を食べている所へもう!羽が飛んで来ると、先にいたカラスは、場所をゆるかのように飛び立った。もう!羽が極限の上で鳴くと、もう!羽が滅(から飛んで来た。仲の良いグループだと思った。わからはいが進伸いるだろうと思った。 67 A 川の中で羽を立てて水浴びをしていた。4分ぐらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り油を飛ばしていた。口ばしで別の下の毛をとくようになでていた。 67 A 川の中で羽を立てて水浴びをしていた。4分ぐらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り油を飛ばしていた。日ばして別の下の毛をとくようになでていた。 67 A 川の中で羽を立てて水浴びをしていた。4分ぐらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り温を飛ばしていた。日ばして別の下の毛をとくようになでていた。 67 A 川の中で羽を立てて水浴びをしていた。かくらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り温を飛ばしていた。日はしているのだろうか。 67 A 日のぼへ降りて土の中の型や草を探っては民家の屋根の上に上っている。 67 A 可別が、耕したばかりの畑で、ついばんでいた。すっとあたりを見回していた。何かをい感したの声で鳴いていた。 67 A 電信柱のてっぺん、電線の基部にとまって時々鳴きながら、すっとあたりを見回していた。何かをしているのだろか、それともなわばりを宣言しているのが。 67 A ごの付近は田んぼの広い(やさしい)感じがる 4 でいるのぼろうか、それともなわばりを宣言しているのが。 5 でいるの間辺を調とりながらチョンチョンと歩いていた。 67 A この付近は田んぼの広い(地域であり、サギ頼の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少の周辺を調とりながらチョンチョンと歩いていた。 67 A この付近は田んばのあり、サギ頼の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なった。多いはは接触に発見できず、とこのカラスは田に水があるときも田に入り、サギ頼の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラストルとしている。(トとほとんど同様、無神山を嫌にする。) 68 A 河川敷の地面、河川林に多数集まっている河底の環路はかざい時には多数集まる。ここはカラスの歯にみる発神山の近ですが、カラスがあまり集ました。日間あります。これよりではまれたが、カラスを開は、水路の間のではまました。見ですったみくのカラスが早前から鳴いていまでからまります。またまハラスが楽しなをとしたりました。最終的でも関係がいさい、最近がたと思んがいさい、これが分からまいけっている、下がらするいに表がした。屋がかによりたが、違していたが、よく見くもであげた。インスルがりましたが、そのカラスに繋撃され、カラスを開は、大きのよりには、水路の間のでは、水路の間にで、15.30 乳のほが通れのよりに表がある。 電線への止れていた。 大きに見いたが、そのカラスに乗りた。 カラスに繋がる 4 ごがはがたりでいると思んがいさい。 1 での時にがは、大きにはいたいるとのものではいたが、よく見くなのかりにはいたいるとのものではいたが、よりないたが、まりないためにはいたいるとのものではいたが、よりないためにないためにないためにないためにないためにないためにないためにないために			
にカアーカアーと鳴いて後を追って飛び立った。   1 現が桶を食べている所へもう 1 羽が飛んで来ると、先にいたカラスは、場所をゆるかのように飛び立った。 もう 1 羽が履後の上で鳴くと、もう 1 羽が遠くから飛んで来た。仲の良いグループだと思った。わからないが雄組の上で鳴くと、もう 1 羽が遠くから飛んで来た。仲の良いグループだと思った。わからないが雄組のとで鳴くと、もう 1 羽が遠くから飛んで来た。仲の良いグループだと思った。	42	Α	した。
<ul> <li>4 無差担りおこした後すぐに、6-10到額をとりにどこからかおりて来た。人の行動をよく見ている。</li> <li>6 A 1 羽が棒を食べている所へもう 1 羽が飛んで来ると、先にいたカラスは、場所をゆるかのように飛び立った。もう 1 羽が庫を食べている所へもう 1 羽が悪んで来ると、たいにカラスは、場所をゆるかのように飛び立った。もう 1 羽が庫を食べている所へもう 1 羽が連くから飛んで来た。仲の良いグループだと思った。からないが雄雄いるのだろうと思った。</li> <li>87 A 川の中で羽を立てて水浴びをしていた。4 分ぐらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り滴を飛ばしていた。口ばしで羽の下の毛をとぐようになでている。</li> <li>107 A 日んばく降りてせつ中の虫や草様字っては民家の屋根の上に上っている。</li> <li>125 A 一羽が、耕したばかりの畑で、ついばんでいた。すぐそばの電柱のてっぺんに、もう一羽いて・い感じの声で鳴いていた。</li> <li>137 A 電信柱のてっぺん、電縁の基部にとまって時々鳴きながら、すっとあたりを見回していた。何かをしているのだろうか、それともなわばりを直ししいるのか。</li> <li>145 A ハシブナガラスよりおとなひに(いやさとい)感じがする クラシェカシェカシェカン・シェランと歩いていた。</li> <li>146 A グイサギが参耕された田を突っついていた所へ下りてきて、付かず離れずの距離を保ちながら耕連の関連を保ちながらチョンチョンと歩いていた。</li> <li>147 A グイサギが参耕された田を突っついていた所へ下りてきて、付かず離れずの距離を保ちながら耕連の関連を保ちながら対すシチョンと歩いていた。</li> <li>148 A 信楽町を1時間ほど走ったが、不思講なほど鳥を見かけない。場所や時間帯のせいかとも思うが、カラスがあまりまなことはありませいかとも思うが、カラス・ピラデスト〜浄津は該当の鳥類は発見できず。</li> <li>149 A このの日は特に少なかった。シい日は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(トビもほとんど同様、荒神山を崩にすり、サギ類の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なかった。とラデスト〜浄津は該当の鳥類は発見できず。</li> <li>140 A ごの時では多なまたりにより、サギ類の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なかった。との日は特に少なかった。多い日は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(トビもほとんと同様、荒神山を崩にすずが、カラスがあまり集ることはありません。自衛壁間の合き間の合き計では28別程は1たと思います。</li> <li>141 A 別別の地面、河川林に多数集まっている河上ではのが手につばかななりまからかカラスはたくさんいまず、カースがあら続いていまった場にでする。</li> <li>142 A 別別の地面、河川林に多数集まっている河上ではのから場にでの場へ7スパン程上で13羽が見られた。月で2分に10mので13羽が見られた。日間もらいまがよりまたがまではからから続いていまったの間で13羽が見られた。月で3羽が見られた。月で3羽が見られた。月で3羽が見られた。月で3羽が見られた。日間もらいまからからからよいによりまたがまではから場にでいまったの間で13羽が見られた。月で3羽が見られた。日間はためが見られためによりまたがまではから場にでいまっためまた。日間はためを探索したから場にでいた。月で3日はからから場にでいためにはいためによりまたがまた。日間はためによりまたがまたがまたがまたがまたまたがまたりではからないまたがまたがまためにないまたがまたがまたがまたりではないまたがまたがまたがまたがまた。日間はためにはないまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがまたがま</li></ul>	43	Α	
日86 日 1 羽が焼を食べている所へもう 1 羽が飛んで来ると、先にいたカラスは、場所をゆるかのように飛った。わからないが鍵値いるのだろうと思った。 2 日 1 別が屋根の上で鳴くと、もう 1 別が遠くから飛んで来た。 仲の良いグループだと思った。 2 からないが鍵値いるのだろうと思った。 3 からないが鍵値いるのだろうと思った。 4 川の中で羽を立てでなるでもしていた。 4 分(らいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り流を飛ばしていた。 口がして羽の下の毛をとぐようになでていた。	55	Α	
### 1975 日本の主ないが遺跡についた。 ### 200 日本の主ないが違跡についた。 ### 200 日本の主ないが遺跡についた。 ### 200 日本の主ないが遺跡についた。 ### 200 日本の主ないではいた。 ### 200 日本の主ないではいたいではいたいではいたいではいたいではいたいではいたいではいたいではい			
<ul> <li>87 A 川の中で羽を立てて水浴びをしていた。4分ぐらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振り消惫を飛ばしていた。口ばしで羽の下の毛をとぐようになでていた。</li> <li>107 A 田んぼへ降りて土の中の虫や草を採っては民家の屋根の上に上っている。</li> <li>125 A 円が、耕したばかりの畑で、ついばんでいた。すぐそばの電柱のてっぺんに、もう一羽いて・い感じの声で鳴いていた。</li> <li>137 A 電信柱のてっぺん、電線の基部にとまって時々鳴きながら、すっとあたりを見回していた。何かをしているのだろうか、それともなわばりを宣言しているのか。</li> <li>145 A ハシブトガラスよりおとなしい(やさしい)感じがする</li> <li>147 A グイサギが冬耕された田を突っついていた所へ下りてきて、付かず離れずの距離を保ちながら耕連の周辺を娘とりながらチョンチョンと歩いていた。</li> <li>148 A バシブトガラスよりおとなしい(やさしい)感じがする</li> <li>149 A 信楽町を1時間ほど走ったが、不思講なほど鳥を見かけない。場所や時間帯のせいかとも思うが、地域性なんだろうか、</li> <li>200 A この付びほは内に傾の広い地域であり、サギ類の存在を目指したが残念乍ら発見できず、カラスも少なかった。ビラデスト今津は該当の鳥類は発見できず。</li> <li>207 A このカラスは田に水があるときも田に入り、サギなどと同じようなえさのさがし方をしている。(トビもほとんど同様、洗神山を塒にする。) 別川敷の地面、河川林に多数集まっているづけまりません。</li> <li>243 A 河川敷の地面、河川林に多数集まっている河床の露出面が多い時には多数集まる。</li> <li>254 A 自転車で逼過の一個所だけをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下50m程の間で13 羽が見られた。J R 鉄橋 画道8号線間の合計では25 羽程はいたと思います。</li> <li>262 A 数えた数が124 駅 実数はこの俗ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に100 羽を越す数となった。</li> <li>278 A この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づり止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早期から鳴いていました。造からカラスはたくさんいます。</li> <li>284 A 2分程の間に7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。まからかりでは、カラスの壁を探索したのみの機を探索したの場のは電柱にいた。カラスを見なくのカラスが異となった。と前りたりを使かたりにいているようスを見なくり流していた。がよりまでは続けていた。の間を経上すれずれに、家の間を集上すれずれに、家の間を集上すれずれに、家の間を定したのより、よりたちを探索したの時間、7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。これが見と思りたがまりましたが、そのでは逃げをよりました。これが見に頭に口はあったと見つていたが、よりないはなれた所に乗っていました。これが見が見がした。これが見が見がした。これが見が見がした。これが見が見がしました。これが見が見がしまりまではまっていまります。</li> <li>281 A ごはながりまりまりまります。これははなれを作り立た場にではないが見がした。これではないではないできずにからないではないために関するとした。これが見が見が見がした。これが見が見がした。これが見がした。これが見がしまりません。これが見がしたりまります。</li> <li>282 A 数えた数がにを使かしまります。これはないではないまります。</li> <li>283 A ごはないがしまります。これが見がしまります。</li> <li>284 A 2分間ではいればないます。</li> <li>285 A 2分間ではないではないがしまります。</li> <li>286 A 2分間ではないがしまります。</li> <li>287 A 2分間ではないがしまります。</li> <li>288 A 2分間ではないがしまります。</li> <li>287 A 2分間ではないがしまります。</li> <li>287 A 2分間ではないがしまります。</li> <li>287 A 2分間ではないがしまります</li></ul>		,,	び立った。もう1羽が屋根の上で鳴くと、もう1羽が遠くから飛んで来た。仲の良いグループだと
107	87	Α	川の中で羽を立てて水浴びをしていた。4分ぐらいすると北側の木の上(10mぐらい)に止り、体を振
125	407	^	
188			
しているのだろうか、それともなわばりを宣言しているのか。	125	А	い感じの声で鳴いていた。
445   A ハシブトガラスよりおとなしい(やさしい)感じがする	137	Α	電信柱のてっぺん、電線の基部にとまって時々鳴きながら、すっとあたりを見回していた。何かを しているのだろうか、それともなわばりを宣言しているのか。
の周辺を餌とりながらチョンチョンと歩いていた。	145	Α	
168	147	Α	ダイサギが冬耕された田を突っついていた所へ下りてきて、付かず離れずの距離を保ちながら耕運の思いた餌といながらチュンチョンと歩いていた。
地域性なんだろうか、    204	168	Λ	の向起を明とりなからデョンデョンと少いていた。 信窓町を1時間はどまったが、不田鎌かはど息を目がけかい、提所や時間帯のサルかとも田らが
なかった。ビラデスト今津は該当の鳥類は発見できず。	100	٨	地域性なんだろうか、
207 A         ここのカラスは田に水があるときも田に入り、サギなどと同じようなえさのさがし方をしている。238 A         この日は特に少なかった。多い日は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(トビもほとんど同様、荒神山を塒にする。)           243 A         河川敷の地面、河川林に多数集まっている河床の露出面が多い時には多数集まる。253 A         ここはカラスの蛸である荒神山の近ですが、カラスがあまり集ることはありません。自転車で逼過の一個所だりをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下50m程の間で13 羽が見られた。J R 鉄橋~国道8号線間の合計では25 羽程はいたと思います。           262 A         数えた数が124 羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に100 羽を越す数となった。           267 A         この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。           278 A         ごび中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側のR161 までの田畑・水路を探索したが鳥類は、トンビ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。 近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側のR161 までの田畑・水路を探索したが鳥類は、たと飛び続けていた。           284 A         2 分程の間に7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれずれに、家の間を、屋根すれずれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に近くを飛び続けていた。 大部分が9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。           291 A         ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。 カアアの時に頭は下ると思っていたが、よく見ると打の時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。           6 B         農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっていて落とまでけっていたが、今では逃げだす構えだけ。賢いです本。           43 B         今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も上が、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらいはかがよれた所に、大野ではかった所では、大野ではかられた所に、大野などのよりに乗りていたが、大野などのよりに乗りていたが、よりまれたが、よりまれたが、よりまれたが、よりのはなれた所に、大野などのよりにあれたのよりにありまれたが、よりまれたりにありまれたが、まれたり、よりまれたり、よりはなれた所に、大野などのよりにありまれたが、よりにありのはなれた所に、ためによりないためによりまれたが、よりによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないまれたりによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりないためによりない	204	Α	
238   A   この日は特に少なかった。多い日は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(トビもほとんど同様、荒神山を塒にする。)   243   A   河川敷の地面、河川林に多数集まっている河床の露出面が多い時には多数集まる。   253   A   ここはカラスの塒である荒神山の近ですが、カラスがあまり集ることはありません。   自転車で逼過の一個所だけをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下50m程の間で13羽が見られた。JR鉄橋~国道8号線間の合計では25羽程はいたと思います。   数えた数が124羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に100羽を越す数となった。   20日は三種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。   近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側のR161までの田畑・水路を探索したが鳥類は、トンビ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。   2分程の間に7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれずれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。   大部分が9:30頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近に位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。   5毛袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているよう   時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。   農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっないて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。   今年私の家の軒につばめが集を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢ごさにビツクリしております。   86 日にカラスのわからないげれど、その市の本の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい過過のたりに乗りたりた。東の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勧違いをした。東の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勧違いをした。東の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりにがある。2年ぐちいればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	207	Α	
243 A 河川敷の地面、河川林に多数集まっている河床の露出面が多い時には多数集まる。           253 A ここはカラスの塒である荒神山の近ですが、カラスがあまり集ることはありません。           254 A 自転車で逼過の一個所だけをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下 50m 程の間で 13 羽が見られた。JR鉄橋~国道 8 号線間の合計では 25 羽程はいたと思います。           262 A 数えた数が 124 羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に 100 羽を越す数となった。           267 A この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。           278 A 近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側の R161 までの田畑・水路を探索したが鳥類は、トンビ以外全く発見できず。たまたままハシボソガラスが頭上を通過したみ。           284 A 2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれずれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続くと飛び続けていた。           285 A 大部分が 9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。           291 A ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているようの時が下でアの時が上っている。下からずくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハンブトかハシボソかわかるようになった。           6 B 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいまようになった。           43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにピツクリしております。           86 B 同じカラスかわからないげれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらい前だけれど集合です。たる、発へないいなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。 集の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。 集の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりだが親に、ひなをいじめていると助途に乗りためたる。	238		この日は特に少なかった。多い日は30mスパンの電線へ7スパン程上下2段にメジロ押しとなる。(ト
<ul> <li>253 A ここはカラスの塒である荒神山の近ですが、カラスがあまり集ることはありません。</li> <li>254 A 自転車で逼過の一個所だけをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下 50m 程の間で 13 羽が見られた。JR鉄橋~国道 8 号線間の合計では 25 羽程はいたと思います。</li> <li>262 A 数えた数が 124 羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に 100 羽を越す数となった。</li> <li>267 A この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。</li> <li>278 A 近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側の R161 までの田畑・水路を探索したが鳥類は、トンビ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。</li> <li>284 A 2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれすれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。</li> <li>285 A 大部分が9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。</li> <li>291 A ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているようでアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。</li> <li>6 B 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつついて落とすだけ。それから学智能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。</li> <li>43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。</li> <li>86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mでらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらのけたが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は</li> </ul>	243	Α	
254 A         自転車で逼過の一個所だけをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下 50m 程の間で 13 羽が見られた。JR鉄橋~国道 8 号線間の合計では 25 羽程はいたと思います。           262 A         数えた数が 124 羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に 100 羽を越す数となった。           267 A         この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。           278 A         ご江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側のR161 までの田畑・水路を探素したが鳥類は、トンピ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。           284 A         2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれすれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。           285 A         大部分が9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。           291 A         ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているようの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。カラスの見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。カラスの見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。ラネは、カラスの見こさにどツクリしております。           6 B         農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。           43 B         今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢ごさにビツクリしております。 い前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないりなを入れた所)に来の木がある。24 年へらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないいなを入ばいたりによった。と助違いをした。巣の下を通ると低空飛行をした。よりにないなどに関いでする。           86 B         同じカラスの野に見たがよりに、大騒がよりに、大騒がよりに、大騒がよりないます。           87 年 日本のよりに対しますとからいはにないながます。         10 日本はないないますと見ないますといますといますといますといますと見ないますと見ないますといますといますといますといますといますとおおよれたのようないますといますといますといますといますといますといますといまする。           80 日本のよりによりによりないます。			
262 A 数えた数が 124 羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に 100 羽を越す数となった。           267 A この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。           278 A 近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側の R161 までの田畑・水路を探素したが鳥類は、トンピ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。           284 A 2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれすれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。           285 A 大部分が 9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。           291 A ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているようの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。           6 B 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコラとよットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べるとようよりつって落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。           43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃されー羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにピックリしております。同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	254	Α	自転車で逼過の一個所だけをカウントしましたが、ここ以外にも点々と見受けられます。この様に 高密度な所は他にも一個所あります、ここは流れの上下 50m 程の間で 13 羽が見られた。J R 鉄橋 ~
267 A         この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが早朝から鳴いていました。昔からカラスはたくさんいます。           278 A         近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側の R161 までの田畑・水路を探素したが鳥類は、トンピ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。           284 A         2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれずれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。           285 A         大部分が9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。           291 A         ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているよう 時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。           6 B         農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。           43 B         今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにピツクリしておりますらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	262	Α	数えた数が 124 羽、実数はこの倍ほどになると思われる。荒神山の群れが降り立った為に 100 羽を
278 A         近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側の R161 までの田畑・水路を探素したが鳥類は、トンピ以外全く発見できず。たまたまハシボソガラスが頭上を通過したのみ。           284 A         2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれすれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。           285 A         大部分が9:30 頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80 羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。           291 A         ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているようの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。           6 B         農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。           43 B         今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。の井の羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。           86 B         同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	267	Α	この日は二種類のカラスが同じ電柱に二羽づつ止まっていました。夏ごろはずっと多くのカラスが
2 分程の間に 7,15,30 羽の群が通過。その後も続々と後から後から続いていた。飛び方が異常に見えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれすれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。	278	Α	近江中庄駅を中心に東側の広大な田んぼ、水路、西側の R161 までの田畑・水路を探素したが鳥類は、
えた。家並みの間を路上すれすれに、家の間を、屋根すれすれに等、真一文字に黒い地吹雪の様に続々と飛び続けていた。	00.4	_	
<ul> <li>続々と飛び続けていた。</li> <li>285 A 大部分が9:30頃北(荒神山方向)へ飛び去り、80羽程となる。電線への止まり方は、始めは電柱に近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。</li> <li>291 A ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているよう 時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。</li> <li>6 B 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。</li> <li>43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。</li> <li>86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は</li> </ul>	284	А	
<ul> <li>近い位置から、電柱かられた所は後回しとなり、最終的にも密度が小さい。</li> <li>291 A ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているよう</li> <li>302 A 時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。</li> <li>6 B 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。</li> <li>43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。</li> <li>86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は</li> </ul>			続々と飛び続けていた。
291 A       ゴミ袋を破って、生ゴミを漁っている。土曜日にゴミ出しに行くが、顔をおぼえているよう         302 A       時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。         6 B       農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。         43 B       今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。         86 B       同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	285	Α	
302   A   時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。	291	Α	
でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞いて、ハシブトかハシボソかわかるようになった。  8 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。  43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。  86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は			時折ガアガアと濁った声で鳴く。ガアのアの時に頭は下ると思っていたが、よく見るとガの時が下
<ul> <li>B 農作物荒らしのハンターとして、そのズルがしこさには感心します。スイカ・トマト・トウモロコシにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。</li> <li>43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。</li> <li>86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は</li> </ul>			でアの時が上っている。下からすくい上げるように鳴いている。カラスを見なくても鳴き方を聞い
<ul> <li>シにネットや糸を張って防いでいます。今年はリンゴを全部食べられてしまいました。食べると言うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。</li> <li>43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃されー羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。</li> <li>86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は</li> </ul>	6	R	
うよりつっついて落とすだけ。それから学習能力が非常に高い。以前は石を投げるマネだけで逃げていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。  43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。  86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	U	ט	
ていったが、今では逃げだす構えだけ。賢いですネ。  43 B 今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。  86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10mぐらいはなれた所)に栗の木がある。2年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は			
3   B   今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5 羽生れて、20 日位い経過した早朝、カラスに襲撃され一羽残りましたが、その一羽も2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。   同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は			
86 B 同じカラスかわからないけれど、この柿の木の側(10m ぐらいはなれた所)に栗の木がある。2 年ぐらい前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	43	В	今年私の家の軒につばめが巣を作りました。5羽生れて、20日位い経過した早朝、カラスに襲撃さ
い前だけれど巣を作った。ひなが巣立つ時に、近所では、大騒ぎをした。よく飛べないひなを人は 助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は			れ一羽残りましたが、その一羽も 2・3 日後に死にました。カラスの賢こさにビツクリしております。
助けたつもりだが親は、ひなをいじめていると勘違いをした。巣の下を通ると低空飛行をして、人は	86	В	
物かった。時には集植場のこみをつつくのもこのクルーフのよつに思つ。			
			忡かった。時には朱碩场のこみをフラくのもこのクルーノのように思う。

# 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(ハシボソガラス編-2)

受付 No.		
87	В	昔から黒い物の例えに、カラスのぬれ羽色という言葉がある。光沢のあるとても美
		しい黒。見とれるくらいの美しさであった。
107	В	墓参りをするとすぐに近くへ飛んで来て、人間が帰ったあと供物を食べにくる。
		西瓜、瓜、柿など食べにくるのでネットを張って予防している。
125	В	頭の形も、くちばしも、スマトなので、ハシボソカラスと同定した。
137		よく見る。ハシブトとまじっていることも多い。このあたりが、草地と森林の両方
		があるからだろう。
147	В	以前はゴミの日によく見かけていたのに、この調査がスタートしたとたんに、カラ
		スを見かけなくなった。明け方時々ですが、2 羽のカラスが鳴き交わしているのを
		聞くのですが、姿を見かけたことがなく、報告出来ず残念です。
151	В	カラスへの興味を持つようになって数年、身近な鳥であるのに、関心がなかった時
		は、カラスが飛んでいる、という程度でした。カラスは群れ意識が強い。田んぼに
		あったエサをめぐって、一匹のネコを四方からチョッカイかけているのを見まし
		た。カァーカァーと鳴きさわいでいるのに、じっと見ていた私も私ですが、とうと
		うネコはあきらめて逃げてゆきました。夏の暑い日中、扇子のように羽根を広げて
		いる姿はおもしろい。真赤な目をして、ドラムカンふちにとまり、その 1m 近くを
	_	通りすぎる私を、ものうげく見ているス姿に、思わず、お前も大変だね、と声
207	В	広大な水田の中に 1 ヶ所、ビニールハウスの骨があり、いつもそこで羽を休めてい
		る。メツシュコード 5236-3164 古城山はカラス数百(数千?)羽の巨大なねぐらであ
		り、太陽が登ると、この方向からカラスがやってきて、夕刻はみなこの方向へ帰る。
000	_	空を飛んでいるのをパラパラとよく見る。
222	В	1. 荒神山を塒にするものすごい数のハシボソガラスとトビが見られます。トビは熱
		上昇気流(塊)一個につき 30 羽程、それが 3~4 本もの"トリヤマ状"に立ちのぼり
		ます。そこには必ず数羽のカラスがトビをつつきに来ます。2.トビの群れが畑に降
		り立った姿は石地蔵の様ですが、そこへはすぐにハシボソガラスが集まります。こ れは攻撃等の意識によるものではなく、デコイに引き寄せられる様な、本能にプロ
		れは攻撃寺の息誠によるものではなく、テコイに引き命せられる様な、本能にフロ     グラミングされた心の傾きによるものではないかと思っています。* デコイについ
		グラミノグされた心の傾きによるものではないがと思うでいます。^ テコイにづい     て図付きの説明文あり。3.ポルトガルではカラスは料理用
285	В	電線上の密度は電線の弛んだ所は揺れが大きい為か?個体間に順位は有るのだろう
200	ט	電線工の電度は電線の電ルた所は描れが入さい場が: 個体間に順位は有るのだろう
		が、もし有るとすれば酸位の個体が電性近くを占めるのだろうが?劣位の二クドウ に大きな鶏冠のかつらを付けると優位になる映像を見たことがあります
302	В	カラスと聞けば畑のいたずらもの。そのようなイメージは今も続いているが、調査
302	ט	カラスと聞けは畑のいたすらもの。そのようなイスークはっも続いているが、嗣直     をしているうちに親しみが湧いて来た。おいしい柿がある、みんなおいでと仲間を
		呼んでいるりちに親しめが場けて米た。おいしい神がある、みんなおいてと呼ばを     呼んでいる鳴き方、もう日が暮れる山へ帰ろうと鳴きながら飛んでいく姿、小さな
		鳥たちとも仲の良いカラス、調査の対照になって本当によかった。
		点にうこも中の氏いカンス、過量の対点になって平当によがった。

# 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(カラス編)

受付 No 164		
	Α	
		えさがたくさんあるらしい。
167	Α	農家の人が田を耕した後から、地面をついばんでいた。信楽町の南北に車で走ったが、
	,	不思議なほど、鳥を見かけない、カラスがわずかとスズメの群れがいくつか、通った所
		が比較的車が多い所だったせいか又時間帯のせいか?他の地域とちょっと違った印象を
		受けた。
228	Α	1 スパン 30m の電柱の 2 段の電線 4 スパン程にメジョロ押しになってトビと共に異常に
		多11。
232	Α	
	Α	うず<まり、ほとんど動かず
235	Α	ごみ収集場所のゴミの袋をやぶることが以前は多かった。この頃、人側で柵を作るなど
		して(ごみケージ)、被害は少なくなってきた。
205	В	1・私の父が子供のころ、種類不明のカラスをヒナから育てたそうです。非常になついて
		可愛かったがカマドの薪の火をくわえて飛びまわるので、泣く泣く山へかえしたそうで
		す。2.カラスからの連想 カラス ワタリガラス レイバン レイバンのサングラス
		レイバンのサングラス十巨大なコーンパイプ=マツクアーサー今、これがわかる人は何人
		いますか?いつのまにか歴史の語部(かたりべ)、稗田の阿礼に近い存在になってしまいま
		した。(私の生まれた年にゼロ戦のプロトタイプが飛んでいます)
223	В	外観でハシブトカラスかハシボソガラスかを判断出来ないことが多いです。鳴き声がい
		つでも聞けるとは限りません。*一群に両種が混じることはあるか *行動に相違があ
		るのか *見分け方の秘訣があるのかを教えて頂きたいのですが。
232	В	昨年の暮にカナダのイェローナイフへ行きましたが、街中を大きなカラス(ハシブトガラ
		スを更に大きくした様な)が悠々と飛び回っていました。私には 2 倍弱と見えたのです
		が、旅行者の方達は6倍、6倍と口をそろえて強調します。これは長さで 1.82 倍は容積
		や重量で約6倍ということでどちらも正しいことにあとで気付きました。このカラスは
		何だったのでしょうかワタリガラスでも翼長でハシボソガラスの約 1.3 倍です。ここで
		は日本アルプスでよく見られるのによく似た、白い冬毛のライチョウの群が日本のスズ
		メの様に家々の軒先で餌を探していました。
235	В	彦根市の荒神山及びその南面の田畑には、やたらと多くのトビとカラス(多くはハシボソ
		ガラス)が見らます。トビの群が降りたった田畑にはカラスの群も集まります。

# 身近な鳥を調べてみよう・調査で気づいたこと(いない編、その他)

受付 No.	観寮場所		
いない 1	水口町嵯峨	Α	カイツブリを探していたのですが、一羽も見つかりませんでした。これは「い
			ない」という報告です。
		В	キンクロハジロ、マガモ、オナガカモが日なたで泳いでいたが、私が静かに姿
			を現わしただけで、向う岸の日かげに全部泳いでいきました。
その他 1	彦根城中堀	Α	アオサギ…立っている、コサギ・ゴイサギ…日光浴
その他 5	草津市	Α	【コハクチョウ】北方から飛んで来て着水した。その後、水面に浮かんでいる。
	志那町	В	対象外の、鳥でしたが、とにかくその飛来してくるときの姿が美しく、着水す
			るしゅん間も感動の一言につきました。また、草津近ぺんで見られたことがす
			ぱらしいことだと思います。
その他 8	土山町	Α	【マカモ】少し離れていた1羽が、群に近づくため飛び上がった。1時聞半後
			もう1度、通った時には、姿は見られなかった。休憩したのか、入江に入って、
			眠っていたのかな。
		В	釣り人が、岸のあちこちに十人くらいいたし、ダム周辺道路を車や、バイクが
			よく通るが、水面の中央部で、群で浮んでいた。
その他 9	土山町前野	Α	【カワカラス】鳴き声はビッビッとキレイ。ハトより大きい位で、水から出た
			あと、浅い所で水浴びをしていた。30分位、1ヶ所でとどまっていた。
		В	テレビで見たが、実際に見たのは今回が初めて。水しぶきを上げて、水とたわ
			むれていた。水流のそばのテトラポットの上で、川底をじっと見ている様子の
			時もあった。
その他 1 0	甲賀町隠岐	Α	10 月 21 日付の調査用紙にカイップリ 20 羽と報告しましたが夕方で、こちら
			を向いて浮かんでいたので、はっきりせず、本日 23 日、日中に再度観寮する
			と、前項の4種類で予想外に多くいました。カイツブリは1羽もなし。
		В	【マガモ、ホシハジロ、コガモ、ヒドリガモ】図鑑で同定するのがむずかしい
			種がいる。風切羽が緑で全身茶褐色のがいくつも載っている。10月 21 日報告
			の青土ダムのマガモは、翌日行くと、入江に群れていました。
その他 11	湖北町尾上	Α	【カイツブリ、カワウ、コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、アオサギ、カラス類】
			色んな鳥類が一ヶ所に集まっていた。幅約 100m 程度の範囲内。
		В	ゴイサギと言う名の由来は、昔(聖徳太子の時代)ゴイサギのキレイさに五位の
			位を与えると天皇が命名したと記憶している。
その他 1 2	大津市大萓	Α	【マガモ、スズガモ、キンクロハジロ、ヒドリガモ】旅館の横であるためエサ
	7 丁目		も豊富、多くの水鳥が群をなしている。

## 【身近な鳥を調べてみよう】 調査資料

今回は鳥の第1回目調査として、普段田畑や、川辺、池、湖岸、などでよく見かける次の4グループ8種にしました。

- 1.カイツブリ
- 2.カワウ
- 3. サギ類(コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、アオサギ、)
- 4. 一カラス類(ハシブトガラス、ハシボソガラス)

<それぞれの鳥の特徴>

## カイツブリ

大きさ: カモより一回り小さく、ムクドリくらいの 大きさの水鳥。

識別のポイント: カモより尾が短く丸っこい、体の 色は茶色っぽい、とがったくちばし、くちばしの 付け根が黄色い、夏は首の赤さが強くなる。



- 探す場所と時問: 琵琶湖岸、河川、ため池などの水面。ヨシ原があるような場所に いることが多い。一日中だいだい同じような場所にいる。
- 行動の特徴: 水にもぐるのが得意、春から夏には高い声で「キッキッキッキリリリ リリ」と鳴き、ヨシ原などで水に浮いたような巣(浮き巣)を作る。
- コメント: 滋賀県の鳥です。琵琶湖での生息数は、毎年1月に行われる水鳥一斉調査で数がわかっていますが、ため池や川での分希は一部しかわかっていません。 みんなでカイツブリの分布と数を調べてみませんか?また、カイツブリは水に潜るのか得意です。どのくらい潜っていられるのか、調べてみるのも面白いかもしれませんよ。

#### カワウ

大きさ: カラスより大きい大型の水島。

識別のポイント: 全体に黒く首や体が長い、くちばしが長く先が下に曲がっている、くちばしの付け根や顔は黄色くその周りが白い、止まっているときは立った姿勢になる、水に浮かんでいるときは体がほとんど沈んでいる、ガンのように∨字形になったり直線になったりして群れで飛ぶことが多い。若い烏は全体に茶色っぽく、腹に白い羽が混じる。



探す場所と時間: 琵琶湖や河川の水面、岸の砂州、水辺の杭の上。あるいはその周辺を飛んでいる場合もある。昼間はこれらの場所にいて、夜は水辺の杭や林に集まる。

- 行動の特徴: 水にもぐって魚を食べる、夜になると集団で水辺の林や杭のあるよう な場所で眠る、杭や岸の砂州などで翼を広げて乾かしていることがある、繁殖 する期間が長く、1-2月頃から繁殖行動がみられ始める。
- コメント: 一時期は数が少なかったですが、1980 年代から琵琶湖でも日本全国でも増えてきている鳥です。繁殖期には、竹生島や伊崎半島(近江八幡市)の森林で集団繁殖を行います。でも、ぞれぞれのカワウがどこに餌を取りに行き、どんな一日の生活をしているのかは、まだよくわかっていません。みんなでカワウのいる場所を見つけて、いつ、どこで、どんなことをしているのかを調べてみましょう。

## サギ類

サギ類の特徴: 首と脚、くちばしが長くとがっている、飛ぶときは首を縮め脚を伸ばしている、夜は林や竹林の樹上でいろいろな種類が一緒に眠る。



<u>コサギ</u>

大きさ: 体はカラスくらいの大きさだが、足と首が長いのでもう少し背が高く見える。

識別の特徴: 全体に白い、くちばしが冬でも黒い、足の指が黄色い。

探す場所と時間: 昼間は琵琶湖岸や河川、ため池、たんぼやたんぼの水路など。夕 方には水辺の林や竹林などに集まってくる。

行動の特徴: 水辺で歩きながら餌を探している。

#### ダイサギ

大きさ: コサギよりかなり大きい。

識別の特徴: 全体に白い、コサギよりもさらに首と脚が長い、冬はくちばしが黄色い、脚の付け根(ももの部分)の色がやや薄い。

探す場所と時間: 昼間は琵琶湖岸や河川、ため池、たんぼやたんぼ水路など。夕方には水辺の林や竹林などに集まってくる。

行動の特徴: 水辺でじっと餌を探したり、ゆっくり歩きながら餌を探している。

## アオサギ

大きさ: ダイサギぐらいのかなり大きな鳥。

識別の特徴: 背が灰色、首と腹側は白っぽい、翼の先は黒っぽい、ダイサギと同様 首と脚が長い。 探す場所と時間: 昼間は琵琶湖岸や河川、ため池、たんぼやたんぼ水路など。夕方には水辺の林や竹林などに集まってくる。

行動の特徴: 水辺でじっと立って餌を探している。

## ゴイサギ

大きさ: カラスぐらいの大きさ、他のサギ類よりかなり小さく見える。

識別の特徴: 他のサギ類より首と脚が短い、頭と背は緑がかった黒で模様はない、腹は白い。若鳥は、全身が茶色く白い斑がある。

探す場所と時間: 昼間は林や竹林などでじっとしている ことが多い。夕方や明け方などに琵琶湖岸や河川、た め池、たんぼやたんぼ水路などにいる。



行動の特徴: 基本的に夜行性。夕方から明け方にかけて活動する。夜、飛びながら クワッと一声ずつ鳴く。

これ以外のサギ類(今回はほとんど見られません)

チュウサギ: 主に夏鳥。コサギとダイニナギの中間の大きさ、くちばしがやや短い。 アアサギ: 夏鳥。コサギくらいの大きさ、夏は頭がオレンジ色になる。よく耕転機 の後ろをついて歩き、飛び出した虫を食べる。

コメント: いわゆる「シラサギ」と呼ばれるサギには、コサギ、チュウサギ、ダイサギ、アマサギの4種類が含まれます。サギは、たんぼにもよくいる鳥ですので、これまでのたんぼ調査の延長のような気持ちで視点を少し広げ、たんぼの鳥を調べてみて下さい。それぞれの種類で、少しずつえさをとる場所やえさの取り方が違います。 どんなところで、どんな動きをしているのか、じっくり観察してみるのも面白いですよ。

今回の鳥の調査の参考になる出版物を紹介しておきます、図書館などでご覧になって、それぞれの鳥の色、形などお確かめください。

題名	著者	出 版 元	価 格
「滋賀の水鳥」	口分田政博	新学者	¥500
「新水辺の鳥」	安西英明 谷口高司	日本野鳥の会	¥524
「新山野の鳥」	安西英明 谷口高司	日本野鳥の会	¥524
「近江の鳥たち」	口分田政博 岡田登美男	サンブライト出版	¥1400
「日本の野鳥」	高野伸二	日本野鳥の会	¥3000

## カラス類

カラス類の特徴: 全身が黒(黒くない仲間もいますが、ここでは黒い仲間に絞ります)、がんじょうなくちばし、雑食性、頭がよく学習能力がある(人の顔もおぼえます)繁殖していないときは、林で集団で眠る。

## ハシブトガラス

大きさ: 大型の陸鳥。

識別の特徴: くちばしが太い、額がでっぱっていて、 くちばしとの問に段がある、カーカーと澄んだ声 で鳴くことが多い。

探す場所と時間: 人家のそば、市街地、林、など、 いたるところで見られる。夕方には群れで林のね ぐらに戻る。

行動の特徴: 昼間はゴミ捨て場などで餌をとったり、 遊んだり?している。夜には集団で山の林などで 眠る。



## ハシボソガラス

大きさ: 大型の陸鳥。

識別の特徴: くちばしが細長い、額はでっぱらず、額からくちばしにかけてはまっすぐ、頭を上下にふりながらガーガーと濁った声で鳴く。

探す場所と時間: 人家のそば、琵琶湖岸、たんぼや畑など、いたるところで見られる。夕方には群れで林のねぐらに戻る。

行動の特徴: 昼間は餌をとったり、遊んだり?している。夜には集団で山の林などで眠る。

#### これ以外のカラス類

ミヤマガラス: くちばしが細長く、くちばしの付け根の色が薄い。

冬にときどき見られるカラス。他のカラスと比べて数は少ない。

コメント: よく見るカラスに実は二種類いたことは、皆さんご存じでしたか?じっくり観察してその違いを見比べてみて下さい。ハシブトガラスとハシボソガラス、どちらもどこにでもいる種類ですが、実はいる場所や行動が少しずつ違います。どちらの種類がどこで、どんな生活をしているのか、調べてみて下さい。ただし!カラスはとても賢いので、あまり邪魔をすると「なんだこいつ?」と顔をおぼえられてしまうかもしれません。くれぐれも、カラスはあなどらないように。

図は「新山野の鳥」と「滋賀の水鳥」より」



## 2001年度第2回フィールドレポーター調査

## 身近な鳥を調べてみよう調査用紙

白い鳥・黒い鳥・水辺の鳥・陸の鳥

## 調査用紙の項目

調査用紙は、1回の調査あたり1種類ユ枚の用紙を使ってください。 用紙が足りなくなったら、コピーして下さるようお願いします。

氏	名		住所				市	・町・柞	न			
観	努	₹	日:	年	月	日						
観	察	時	刻:	午前	す・午後	時	分					
観	察	場	所:	(地名	は出来る	だけ詳	しく、ル	割りの特	持徴も)			
火火	ッシニ	ュコ-	ド:									
観	察	環	境:	市街地	・住宅地	也( 1)	・集落	( 2) •	田・田ん	ぼの水	路・畑	
				林・草	原・川・	ため池	・琵琶	湖(岸・	沖)・その	の他		
天			気:	晴れ	曇り	雨	雪					
風	ſĖ	ij	き:	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	

1 住宅地とは、新興住宅地のような田畑が無いか、少ない住宅街をイメージしてください。 2 集落とは、古くからある家の集まり。

## 見つけた鳥に をつけてください

- 1. カイツブリ
- 2. カワウ
- 3. コサギ 4. ダイサギ 5. ゴイサギ 6. アオサギ
- 7. サギであるがどれかわからない
- 8. ハシブトガラス 9. ハシボソガラス
- 10. カラスであるがどちらかわからない

下のどの特徴から判	断しましたか(	はいくっ付けて頂いて	もけっこうです)
1.体の大きさ	2.体の形	3.体の色	4.くちばしの形
5.くちばしの色	6.頭の色や形	7.脚・足の色や形	8.その他 1
鳥の数			
1羽 2羽 3~	5 羽 6~10 羽	それ以上羽	
鳥の行動			
1.地面や水中に立っ	ている 2.木	・電線などに止まってい	1る
3.水面に浮かんでし	1る 4.歩いて	ハる 5.餌をとって	いる 6.水を飲んで
เาอ			
- 7.飛んでいる(飛ん <sup>-</sup>	でいく方向東西南	(北) 8.羽の手入れっ	をしている
		している 11.その	
01.3,7,7,0 2 0 20 10	101 11 20/11 2	111 (3)	
その他以上の調査で他	にお気づきのこと	とがあればなんでもお <b>i</b>	<b>書きください</b>
-			
応用編 お解りでし	たらお書きくだる	<del>*</del>	
			られる 3 あまり見ら
れない	777 1 母日兄	5113 2CCC元	5119 3 0 より売5
	ほうしおとせべつ	て、1増ラた、2減	った。2日じ
		て 1増えた 2滅	
		ハ? どうやって捕まえ	ましたか?
1ある (時と場所			
捕まえた方法_			
2 ない			
・この種類にまつわるこ	こと、知っているこ	と、感じたこと、なんて	ぎもお書きください